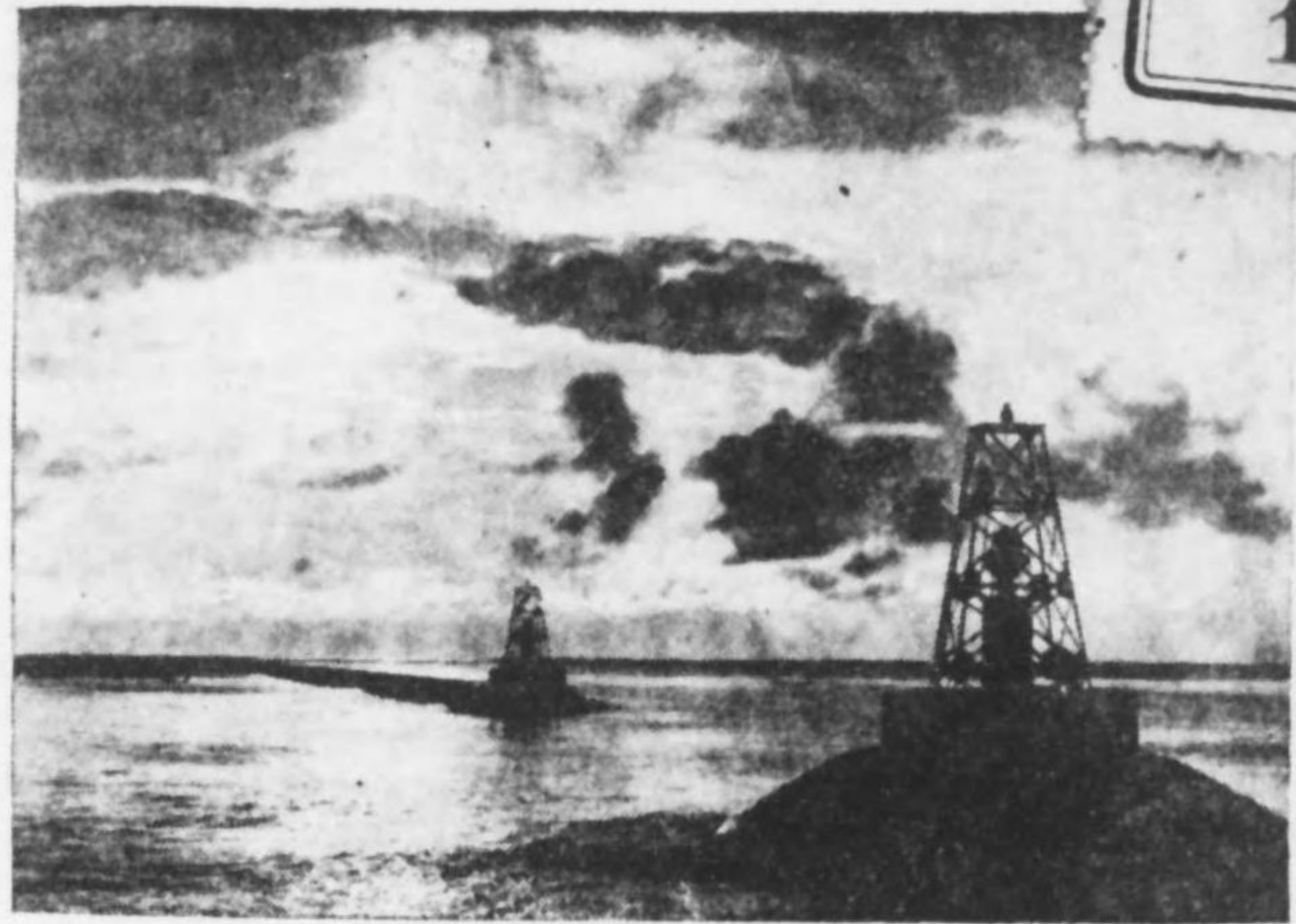


14.5-80



\*1200700356618\*

1



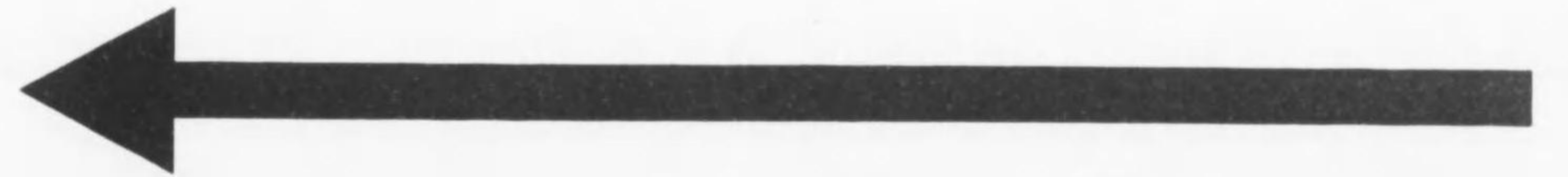
ラングレン島 燈台

スマトラ (南洋叢書 第三十二卷)

南洋協會臺灣支部



始



一、本書は英國外務省が平和會議に臨まんとする代表員の参考資料とせんが爲め、一九一七年の春特に一課を新設し専ら之が編纂に當らしめたるものなるが、所說的確簡潔にしてスマトラの情勢を知らんを欲する者の爲めに便益なるべきを以て之を譯出することとせり。

一、書中統計に關する處資料稍々古きに過ぐるの嫌あり依りて別に得たる最新の數字を特に卷末に加へ不備を補ふに努めたり。

一、本書は閱覽の便に資せんが爲め筆寫に代ゆるに印刷を以てしたるに過ぎずして敢て公刊したるものにあらず。

大正十二年十月十日

南洋協會臺灣支部

# スマトラ

## 目次

第一 地文及政治地理	一
一 位置及境界	一
二 表地 海岸 河系	一
三 氣候	五
溫度 風 降雨	
四 衛生狀態	六
五 種族 言語	七
六 人口	二
分布 郡邑	
第二 政治史	三

年代記摘要

目次

目次

一 和蘭植民地 ..... 一四  
 ・初期の渡来・和蘭東印度會社・一六六四年の條約・英國の利害關係

二 英國の政策 ..... 一五  
 ・和蘭植民地の失敗と恢復・ラツフルズの政策・一八二四年の倫敦條約

三 和蘭統治の結合 ..... 一六  
 ・土著帝制の廢止・對「パドリス」の闘争・奥地の征服・對アチン國の關係・一八七一年の條約・アチエーの征服  
 ・パダン高地の併合

第三 社會的及政治的狀態 ..... 一七  
 一 宗教 ..... 一七  
 二 政治 ..... 一八  
 三 教育 ..... 一八  
 和蘭土民及上級學校 特種官立學校 教員 課程 國民教育 學校及生徒數

第四 交通 ..... 三  
 一 島内 ..... 三  
 (一) 道路 ..... 三  
 (二) 河川 ..... 三

(一) 鐵道 ..... 二五  
 (二) 郵便、電信、電話 ..... 二七

二 島外 ..... 二八  
 (一) 港灣 ..... 二八  
 (二) 設備 ..... 二九  
 (三) 貿易 ..... 三三  
 (四) 海運航路 ..... 三三  
 (五) 海底及無線電信 ..... 三三

第五 産業 ..... 三三

一 勞働 ..... 三三  
 (一) 勞働供給 ..... 三三  
 (二) 勞働狀態 ..... 三五

二 農業 ..... 三五  
 (一) 商業的有價産物 ..... 三五  
 植物業物 ..... 三五  
 檳榔椰子 規那 ココ椰子 珈琲 棉 阿仙藥 落花生 カボツク 玉蜀黍 米 護謨 香料 茶 煙草  
 生畜 ..... 三六

目次

目次

(口)(ハ)(ロ) 耕作の方法 ..... 四六

林業 ..... 四九

(二) 土地享有 ..... 五一

三 漁業 ..... 五一

四 鑛業 ..... 五三

石炭 銅 金 鐵 滿備及重石鑛 石油 錫其他

五 製造業 ..... 五三

六 動力 ..... 五三

第六 商業 ..... 五三

一 對内 ..... 五三

(イ) 商業の主要分類 ..... 五三

(ロ) 郡邑及市場 ..... 五三

パルース マンカリス マンクレン フォート・テ・コック クタ・パル クタ・ラザヤ メダン ナダル

バダン バダン・シテイムアアン マヤヨクムホ マレムバン レンガット シホガ シンケル テロク・メトン

(ハ) 貿易通商改善の機關 ..... 五六

二 對外 ..... 五六

主要輸出 ..... 五六

主要輸入 ..... 五七

(イ) 東岸州 ..... 五七

(ロ) サバイン ..... 五七

綿製品輸入 ..... 五七

第七 財政

一 領土財政 ..... 五七

二 通貨 ..... 五七

三 銀行 ..... 五七

四 外資の勢力 ..... 五七

第八 概説

西海岸諸島 ..... 五九

シマルー パンヤヤク諸島 ニアス バトウ諸島 メンダウエイ諸島 エンガ  
 パンカ ビリトン リオウ・リンガ群島

目次

附録 一八七一年十一月二日締結英國對和蘭協約 ..... 六

参考書目 ..... 七

追補統計

●一九二〇年十一月	蘭印外領人口現在	.....	六
●一九二〇—一九二一年	規那栽培面積	.....	六
●一九二〇—一九二一年	茶栽培面積及産額	.....	六
●一九二〇—一九二一年	バラ護謨栽培面積及産額	.....	六
●一九二〇—一九二二年	作業、護謨園數、其産額(州別)	.....	六
●一九二二年	輸出護謨數量(地方別)	.....	六
●一九二〇—一九二一年	椰子栽培面積及産額	.....	六
●一九二二年一月—六月	珈琲收穫高	.....	六
●一九一七—二〇年	蘭領東印度鑛油産出額	.....	六

# スマトラ

## 第一 地文及政治地理

### 一 位置及境界

スマトラは北緯五度三十九分、南緯五度五十七分の間に横はるが故に、赤道を以て殆んど之を二等分す。全面積は一六七、九五四平方哩、又若し附近の島嶼を加ふる時は合計一八四、〇〇〇平方哩となる。延長一、〇六〇哩にして其最廣幅員二四八哩なり。西は印度洋を以て境とし、東南爪哇とはスンダ海峽により、又東北馬來半島とはマラッカ海峽によりて分たる。

スマトラは蘭領印度諸島の一管區を成し、スマトラ西岸州及びアッチェー(アチン)の二行政區に分たれ、更にタバヌリー、スマトラ東岸州、リオウ及び屬地、ヂヤムビー、ベンクローレン、パレムバン及びラムボン地方等の七州に分劃せらる。

### 二 表地 海岸 河系

表地

第一 地文及政治地理

スマトラは西海岸の全體に亘りて連れる一高山脈と又島の東部全延長は平坦なる沖積層野の廣漠たる地帯とを以て成る。山脈の行程一、〇〇〇哩以上に亘り、其間隨處に高度五、〇〇〇呎より一二、〇〇〇呎以上に達せる幾多の噴火山巔突起せり。バリサン連山、即ちプキット・バリサンと稱する山系は全體數列の山脈を以て形成せられ各自互に平行し、中間に豁谷を有す。此の豁谷には處々火山山簇の介在するありて其連絡を妨げ、又隨處に幾多の山湖を湛ふ。就中トバ湖最大にして他湖皆遙に之に及ばず。本島の山は其の南部に在ると又北部に在るとに依りて特異の點あり、即ち南方にては山脈概ね互に近く平行し中間數箇の小高原を圍めるのみ。然れども北緯一度を限度とせる北方を見るに山嶽悉く廣漠たる高原となりて展開し西方俄かに峻しく落下し、處々に山嶽秀で、此原野の一部を圍めり。主として西海岸に近接せる處、山系中幾多活火山を有する火山の一脈帯ありて高聳す。スマトラの土質は概ね極めて豊饒にして、而かも島内濃密なる森林に富む。本來の森林地帯は三三〇呎乃至四五〇呎の高度を以て起り更に頗る上昇す。

海。岸。

スマトラの西海岸は一般に土地高くして岩石多く、特に南緯二度とバダントの間の如き、處々に山嶽海に面して直下す。モッコ・モッコ及びフラツケ・ホツク岬間の海岸は總て絶壁を成し近接に困難なれども、山嶽は遠く奥地に横はり、海岸に近き陸地は沖積層を以て蔽はれ隨處に沼澤多し。バダンの北方海岸には沼澤再び到り、チクー及びタバヌリー灣間に於ける沖積層地には幾多好適地の展開するものありて移住地と成れり。此方面の海岸は海水の蝕壞する處となりて數多の半圓灣を列成す。タバヌリー灣の北方 Taroanoen に至るまでは廣濶なる沖積層の平野にして爾餘 Koungspunt に至る海岸は Meulaboh に於ける如く等しく沼澤は唯處々に之を見るのみ。

西海岸の大部分に亘りては濱邊に近く水深二〇尋乃至五〇尋に達し、即ち狭少なる海濱の砂洲を越ゆれば直ちに此多大の深味に落下す。北緯三度、南緯三度三分の並行線内、約六〇哩の距離を以て海岸に並列し、一連の諸島あれども、スマトラ西海岸其物の概ね未測量の儘なるが如く、同諸島も亦大部分測量を了せず。

スマトラの最良港は西海岸の中心部分に所在す。同處には島嶼ありて能く外海より之を護れる幾多の入江あり、即ちコイニンギネ灣内バダン(エンマハーフェン)の如き其の一なり。タバヌリーの北方及びインドラブラの南方には海岸の曲折中西南季節風に對し完全なる避難所たるべきものなし。西海岸の貿易及び移住に對する發展は珊瑚礁及び波濤の爲めに海路近接の困難なると且つ奥地との交通不便なることによりて頗る阻礙せらる。

Diamond Point より Varkenshoek に至るスマトラの全東海岸は沼澤及び砂洲を形成し、而かも無數の小岬及び島嶼の河口に方りて突起し、爲めに一見會々海と陸とを識別するに困難の場合あり。

海岸は主として河川の作用より來れる沈澱物を以て之を形成するが故に、絶えず海面に向ひて伸張す。然れども是等の地域は觀ね無人なり。

スマトラの北海岸中ラヂヤ及びダイヤモンド岬の間は頗る變化に富み、或は斷崖絶壁の海に面して屹立し、以て濃密なる植物の之を蔽ふ處あり。又或は砂濱、若くは耕作行はれ爲めに人煙多き好平野あり。其の主たる二港は *Oléh Jéh* (*Oeloe Ihené*) 及び *Sabang* (*Pula Wéh* 島) なりとす。

スマトラの南端には二箇所の深江あり、*Lampung* 灣、*Keizer* 又は *Genangko* 灣之なり。ラムボン灣内 *Telok Betong* には良港を有し、ランボン地方の貿易は概ね此地に於て之を行ふ。

河系。

本来スマトラに於ては山嶽の位置西方に偏在せるが爲め、西海岸の河川は悉く短し。南方の河川は小三角洲を有す。ベンクレーンの北方南緯二度に及べる處、及びバダン竝にブリヤマン間の地點は沼澤多くして河川の放出を阻礙せり。

スマトラの東海岸に於ける河川は、沖積層の平野を流るゝを以て流域隨て廣く、爲めに交通上至要の方便となる。東海岸最大の河を順次南より舉れば、即ちムシー、ヂヤムビー、クワンタン（インドラギリ）、カムバル、シアツク、ロカン、バネイ、及び其小なるはアサハン、セルダン、又其北方に在るデリーの諸河川なり。就中最も重要なるはムシー、及びヂヤムビーなりとす。

三 氣候

氣温。スマトラの氣候は熱帯なれども、熱度は周圍の海洋によりて大に緩和せらる。海岸に於ける空氣は殆んど常に濕潤なれども朝を以て最も乾燥なりとせり。氣候は概ね暑くして濕氣多し。温度は一年中殆ど變化なく、最高華氏七七度（攝氏二十五度）又最低華氏七五度（攝氏二三・八度）にして、日時により多小の高低あり。一年の平均温度は華氏七六・六度（攝氏二四・七度）なり。山地の氣候は海岸に比し多大の差異ありて、晴天には通常強風の太陽熱を調和するありて爽快なり。

風。氣候は島内土地所在の或は赤道以北又或は其以南たるとによりて異なる。蓋し濠洲季節風の影響すべき土地は赤道若くは稍々其北方に及び、更に以北は即ち亞細亞季節風の範圍となる。斯くて南部スマトラは十一月より三月までは西北季節風、又五月より十月までは東南季節風の影響を受け、同時に北部に於ては十二月より三月までは東北風、又五月より九月までは西南風あるを常とす。然れども日夜陸海軟風の爲めに大に地方的變化を發生するを以て、季節風も亦到處之によりて影響を被るものと知るべし。

降雨。乾燥期及び濕潤期を伴へる所謂眞の季節風は之を見ることなく、唯季節に應じて比較的些少の差異あるを觀るのみ。スマトラは濕潤の氣候を有するのみならず、何れの測候所に就て見ても



一年の降雨八〇吋(二〇〇糎)以下に落つることなく却つて一八五吋(四七〇糎)に上り、且つ全年に互りて均等なり。然れども通例島の南部は六、七月又北部は一、二、三月雨量稍少なしと謂へり。全島を一括して其最も濕潤なる時期は即ち十月より一月、最も乾燥なるは三月より九月に至る。雨量の最も多きは西海岸なるが、之れ即ち山嶽に近接せるが爲なり。西海岸地方に於ける雨量は一年一〇一吋乃至一九五吋(約二六〇糎)にして、東海岸地方(五九吋乃至一〇〇吋)即ち一五〇糎乃至二五〇糎)の約二倍なり。全島中最も濕潤の地方は赤道に近き西海岸の中央部にして Pulu Talo の如き一年の雨量一九五吋(五〇〇糎)に達す。最も乾燥せる地方は北部なるが是れ即ち乾燥したる東南風あるに因る。

#### 四 衛生状態

スマトラはマラリヤ熱の峻烈にして蔓延性なることによりて特に有名なり。該病には歐洲人と土民との別なく齊しく之に犯され歐洲人は急性に又土民は慢性に之を受くるの傾向あり。江灣及び河口は著名なる熱病の巢窟なるが、高地の方面は稍健康地なり。北部スマトラは概して熱病少なければも、天候不順の爲め會々マラリヤ及び脚氣の流行を招來する事ありて、特に新來者は之に犯され易し。Pulu Weh 島は極めて健康地なりと雖も、西海岸諸島且つ Benkulen 及び Atjeh の西海岸はマ

ラリヤ甚だ盛んにして不健康地なり。然るにバダンは海岸の町としては健康上好成績を示せり、是れ蓋し朝夕清新なる軟風の至れるに因るべし。

赤痢及び脚氣は農園及び鑛山の勞務に従へる苦力の間特に流行し、又彼等の間には鉤蟲病多し。赤痢、脚氣及び虎列拉は皆會々傳染病として來り、就中虎列拉は風土病たり。從來の記録を以て見るに窒扶斯及び天然痘はスマトラに稀少なるが上に、近年益々其數を減せり。疫癘及び結核は計數の據るべきものなきも、此兩病は廣く群島に蔓延せるもの、如し。癩病患者は一、七六〇名を算したり。土民をして衛生規則に注意を拂はしむるは極めて難事なると共に、洗身其他に關する回々教の儀禮も亦スマトラ土人の多數者は決して之を嚴守せず。一九一四年歐洲人に對する一般死亡率は千人に付一五名なるが、他病に比してはマラリヤ及び窒扶斯によれる死亡多かりき。

#### 五 種族言語

種族

諸土民。スマトラの住民は人種誌上錯雜せるものにして、要するに幾世紀間外國人と接觸し來れる海岸の住民と、今猶多く世に知られざる奥地の土族との間には、著しき差異あり。時と共に多數の亞刺比亞人、支那人、印度人、クリン人、ベンガル人等相繼いでスマトラの海岸に來住し、又往

時商業の目的を以て印度・爪哇植民地にしてバレムバン及びチャムビーに設定せられたるものあり。這般の移住より結果したる混成種族は奥地の土族に比し文化の程度遙かに高し。

本島固有の住民は概ね共通的「馬來・多島」に其起原を有するもの、如くなるが、出所及び經濟的狀態の相違よりして相貌習慣及び言語上互に著しく相異なる幾多の種族を形成するに至れるものなるべし。

スマトラに於ける二箇の主たる人種的類屬は島の住民が馬來人侵入以前の島民を代表せるインドネシヤ人と、初期の時代にスマトラに侵入し且つ爾來群島の大部分に瀰漫したる亞細亞人種の馬來族之れなり（茲に謂へる馬來族なる廣義の用語を以てスマトラ東海岸の住民名として狹義に使用せる語法と混同すべからず）。然れども馬來並にインドネシヤ兩族間の體格には大異なく、且つスマトラの住民は、太古原始的種族の若干を除けば馬來人種と大同小異なり。

スマトラの重なる住民は左の如し。北部スマトラのアチン人、即ち海岸及び高地の兩地方民に分たる者、北緯約三度及び四度三〇分の間、北スマトラの山地に在りてバタックに連結すれどもアチン族の勢力下に屬するガヨび及アラ族、トバ湖畔地方タバヌリー及び東岸州の一部に住せるバタック族、東岸州 Rionw-Tingga 及び Palembang にありて船乗を業とせる馬來族、バダン高地に在りて原馬來人種の遺族にして、隔絶的位置に在りたるに因り別途に發達せるメナンカバウ・馬來族 Menangkabau

Malaya、ルボンに住せるルボン族、バレムバンの西部レヂヤンにあるレヂヤン族及びラムボン地方諸島に於ける Benua バンカ及びビリトン兩島に於けるオーラン・ダラ（土人）Orang Tani、又はオーラン・グノン（山民）Orang Gunung、此他オーラン・ラウト（海人）Orang Laut 等なり。是等は總て馬來人の賤しむ處となれり。蓋し其馬來人に比したる未開の程度は、恰かも後者の歐洲人に於けるが如く、其の有せる宗教は皮相的活力崇拜を以て常とし、言語は低級なる馬來語を慣用するを以てなり。

土著以外の住民。スマトラに於ける歐洲人九、六一〇名の内其大多數はデリー及びバダンに居住し、煙草農園に従事す。政廳官吏の割合は、爾餘蘭領東印度諸島に於けると等しく、低率にして農商及び専門の職業に在る一四、〇〇〇に對し、政廳聘用者數は九、〇〇〇に過ぎず。歐洲人の成年者男子の上階級に互りて多數の無職業者あるは概ね歐洲人と同格に看做されたる歐亞混血兒なるが、白人と肩を並べて業務に當るの實力なきに拘らず一面手業は之を蔑視するを常とせり。純歐洲人の九二〇は和蘭人なれども、内本國生れの者は七〇に過ぎず。新設植民地にして爾餘蘭領東印度植民地に比し萬國的特質を有せるデリーには若干の獨逸人あり。

一九一二年スマトラには支那人二二三、一五三人、亞刺比亞人四、一四五人及び土民以外の他東洋

人一、九、五七五人を數へたり。

當諸島に於て日本人は法規上歐洲人と同格にして又土民よりも同様に看做されるれども、歐洲人の社交界に加はらず、其多數は店舗商人なり。

スマトラに於ける支那人の大多數は主としてバンカ及びピットンの錫鑛山及びリオウ・リング諸島の胡椒園、又デリ煙草農園に雇傭せられ、島内に在る支那人中五分の四はスマトラ東岸州に居住せり。概ね至貧級の移民より成り、東印度に於て得らるべき稍高率なる賃銀に誘致せられたるものなり。苦力として使役せらるゝ者を除けば支那人は諸般の仲介業者なるが、假りにも彼等の撤退を見んか本島の商業は萎弊するの外なからむ。

亞刺比亞人は支那人と異なり、土人社會と同化すること速かにして其常習に従ひ一旦土著の妻を娶るや須臾にしてシエム人種たる特性を失ふるに至る。

言語。

種族の異なるに従ひ其使用せる言語亦同じからず。用語の或は馬來語に關係を有するものあれども、多くは印度語に起原を有す。由來、馬來語は簡易遍適の國語たるを以て商人官吏の慣用語となれり。和蘭語は歐洲人の間に之を用ふるのみ。メナンカバウ・馬來語は亦別派の用語にして、其起原更に古きものゝ如く、スマトラ西岸州及び其附近の地方に用ゐらる。アチン語は馬來に關係を有し、

四種の方言に分たる。バタク人は多様の言語を有し、印度文字を用ふ。レジヤンの文字及び言語は印度語に起原を有すれども、現今多數の馬來語を含めり。メナンカバウ馬來人は嘗て印度文字を用ゐたりしが、當今亞刺比亞の書法を採れり。ラムボン語はバタク語及びスンダ語の兩者に類似す。

六 人口

分布。

一九一二年スマトラの總人口は僅に五、七五一、五八三にして、本島の大なるを以てして爪哇の稠密なるに之を比すれば計數極めて小なり。

本島中住民の最も密なるは西方山地にして、又最も粗なるは東部の沼澤多き林野なり。一九一二年人口の密度はスマトラ西岸州の一平方哩に付き七六たると又チャムビーの同約一人の割合たるが如く地方によりて各々相異れり。

都邑。

一九〇五年スマトラ内の植民地にして一、〇〇〇以上の人口を有せるは僅々三二箇所、就中五、〇〇〇以上に達したるは七箇所のみなりき。

最大都邑は Padang (スマトラ西岸州の首都)、人口(一九〇五年)四七、六〇六。 Padang Sidempuan

(タバヌリ州の首都)、三、一一八。Siboga 一七、六一一。Benkulen (シンタレーン州の首都)、七、七  
 一一。Telok-Betong (ラムボン地方の首都)、三、七五九。Menggala 八、九七六。Palembang (パ  
 ムバン州の首都)六〇、九八五。Sekajai、三、〇四〇。Jambi (チャムビー州の首都)、八、八一五。Med-  
 an (スマトラ東岸州の首都)、一四、二五〇。Kuta Raja (アチエー廳の首都)、三、七〇四。Tanjung-  
 pinang (リオウ州の首都)、四、〇八八等なり。

## 第二 政治史

### 年代記摘要

- 一五九六年 蘭人最初の渡来
- 一五九九年 コーキリス・ハットマンのアチエー沿岸に於ける殺害
- 一六六二年 和蘭對バレムバンの通商條約締結
- 一六六四年 東印度會社商業の重要伸張
- 一六八五年 英人のペンタレーンに於ける根據設定
- 一七八一年 西海岸に於ける全和蘭の領有英人に奪はる
- 一七八三年 ヴェルサーユ條約によれる還附

- 一七九五年 全和蘭領有再び英國に奪はる
- 一八一四年 倫敦條約によれる再還附
- 一八一八年 ラッフルズのペンタレーン總督就任
- 一八二四年 英國のスマトラ撤退
- 一八二五年 バレムバンの土王政治撤廢
- 一八三七年 ボンヂョルの征服、バドリ教派の敗滅
- 一八三八年 十三聯區の征服
- 一八三九年 和蘭のバルース包圍
- 一八四〇年 アチエーよりタバス及びシンケルの奪取
- 一八七一年 和蘭の對アチエー行動に關する英國の抗議撤回
- 一八七三年 アチエーに對する和蘭の宣戰
- 一八七八年 アチエーに於ける和蘭統治の正式設定
- 一八九九年 バダン高地領有の確定
- 一九〇七年 アチエー戰爭の終末

一 和蘭植民地

一二九五年の頃小爪哇としてマルコ・ポーロに知られたるスマトラ島に蘭人の初めて渡來せるは一五九六年なり。當時島内には次掲の諸州存在したるを見る、即ち北方に *Acheh* (アチエ) 東北方に *Stak, Kampar, Kuangan* 及び *Indragiri* 中央に *Menangkabau* 同地の南方、西海岸に *Indrapura* 同地より東南方に所在し、共に十四世紀中爪哇人の植民する處となりて、バンタム王の名目的主權を認承したる、*Jambi* 及び *Palembang* 等之れなり。當時既に悉く十二世紀の傳來たる回教を奉せり。

一五九九年コーネリス・ハットマンはアチエー沿岸に於て葡萄牙人教唆の下に土民の叛逆殺害に遭ひ、爾後久しく西海岸は頗る非友好的の状態にありき。然れどもバンレバンに於ける和蘭東印度會社は成績良好、商館を設置し、且つ一六六二年には通商條約を締結したり。當初貿易は主として胡椒を取扱ひたるも、後バンカ産出の錫を加へたり。一六六三年メナンカバウ王はアチエー對抗上和蘭の援助を求め、繼いで翌一六六四年條約締結となり、爾後會社はシンケルよりインドラブラに互りて貿易に従ふを得ることとなり、同時に防備を施したる商館をバダンに築設したり。爾餘續々西は *Batus, Ayer Bangis* 及び *Priaman* 南はラムボン諸地方又東は *Musra Kompeh* に要塞築かれ

たり。爾後久しからずして英國東印度會社のスマトラに至るありて和蘭會社と對抗し、ベンクレーンに於ては一六八五年其地盤を設定し、一七二四年にはフォート・マルボロー其他幾多商館の建設せらるゝものありき。

二 英國の政策

英國との第四次戦争(一七八一—三年)中、和蘭は西海岸に於ける其版圖を失ひたるも、一七八三年ヴェルサーユ條約に據りて之を復還せり。然るに爾後和蘭の對佛國聯合に際し再びスマトラに於ける領土を悉く失ひしが、一八一四年八月十三日倫敦條約に據り更に之を恢復するを得たり。

一八一一年より一八一六年に至る期間中は爪哇に、又一八一八年より一八二三年迄にはベンクレーンに總督たりしスタムフォード・ラッフルズ卿は後記の期間中東印度全土に於ける和蘭の勢力に對し英國の之に代はらんことに努力し、延いて彼れの結び得たる中部スマトラの主權者並に土族との同盟、及び全島に互れる英國勢力の範圍擴張とは、和蘭印度帝國の中軸たる爪哇に隣接したる一大植民地を茲に確立し得たらんに、ラッフルズの政策は英國政府の支持する處とならざりしは惜しむべし。斯くて和蘭の外交は一八二四年の條約締結に成功し、即ち該條約を以て既往一百五十年に互りてベンクレーンを領有したる英國は之を和蘭に讓渡し、且つ爾後一切スマトラに英國商館を設

定せず、若くは同島何れの州又は主権者との間亦英國々權を以て何等條約を結ばざるべきを盟約したり。

### 三 和蘭統治の結合

上記條約に據りて、アチエーを除くの外、海岸は悉く和蘭の獨占的勢力の下に之を置くに至れり。該勢力の維持伸長の爲めに一八一七年既にバラムバンに行動を開始し、一八二五年土著帝制の廢止を以て之を終決したりしが、一八一九年以來 Padris と稱へ、一八三七年 Pontiol 征服に至るまで絶えず脅威を逞ふしたる實に危険なる回教徒の一派に對し幾年に亙りて鬭争を續けたり。漸く此等の憂懼より免かれ得たる和蘭は爾來諸多奥地の征定に其注意を轉じ、一八三八年遂に十三聯區として知られたる地域を征服するを得たり。其翌一八三九年 Maris を、更に一八四〇年 Padris 及び Singkel を占領せり。

一八二四年の條約附隨の覺書を以て、和蘭政府は通商航海の安全を確保せんが爲め、遲滯なく其對アチエー關係の規約に準據せんことを約し、且つ該文書中、和蘭はアチエーと敵對行動に出でざるべき約定をも含めたり。然りと雖、アチン人側に於ける幾多反抗的行動は爾後久しく續出せり。此時に方りて英國政府は、アチン近海の危険状態に關し彼南及び新嘉坡の商人に警戒を加ふるの必

要ありとしたりしが、一八七一年締結の條約に據り、遂にシアクに於ける通商特許の報酬として、「何れの地點たるを問はずスマトラ島に於ける和蘭國の版圖擴張に對する一切の抗議」を撤回するに至れり。

アチン國は和蘭の侵略を怖れ、密かに新嘉坡駐劄各國領事を経て合衆國、伊太利、佛蘭西及び土耳古よりの保護を求めたり。是に於て和蘭は此種秘密交渉の辯明を要求したるもアチン之を回避したるを以て、一八七三年三月宣戰を布告し、爾來人命財寶過大の犠牲を拂ひ、双方の葛藤絶ゆるの途なく、遂に一九〇七年十二月土帝の降服して、アムボイナに追放せらるゝに至り漸く治定せり。先是一八七八年アチエー國及屬領はスマトラの一管區として併合せられたり。現今バダン高地と稱ふるバダン以奥の豊饒なる高地々方は永く土王の統治下に存続したりしが、一八九九年に至り、メナンカバウ大帝國最後の殘片悉く正式に和蘭の併合する處となれり。

## 第三 社會的及政治的狀態

### 一 宗 教

偶像教徒たるバタク人の大多數及び西沿岸諸島民の多數を除きたる、スマトラの土民は名目上始

と皆回教徒たりと雖、實際に於ては回教的熱信若くは其純味頗る缺如たり。耶蘇教は進歩甚だ緩慢なり。一九一四年末新教宣教者の概算によれば蘭印外領地に於ける回教徒の總數五三八、〇〇〇、又天主教徒は四〇、〇〇〇を以て稱したるに過ぎず。

## 二 政 治

和蘭政廳はスマトラを以て外領地の中に加へ、爪哇マドウラを以て其版圖中の重要管區と看做せり。スマトラの奥地には今猶ほ和蘭統治の單に名目に過ぎざる多大の區域あり。故に戰略的要地の數箇所に守備隊を置くの必要あれども、近年土民の間に擾亂の勃發せるは稀なり。アチエー及びスマトラ西岸州は自今知事ありて之を管轄す。アチエーには守備隊を置き、又西岸州には一小兵力を備ふ。デリー、シアク、ヂヤムビー及びバレムバンに於ては土帝を以て之を保護王とし、ラムボン地方、ベンクレーン、及びタバヌリーは和蘭之を直轄せり、今や國土平定せるを以て、人口の増進速かに且つ土質の肥沃は以て爪哇移民の招來を促がすに至るべきを一般に期待せり。

## 三 教 育

外領に於ける土民の教育は歐洲人に對するものと等しく公私兩種に之を分てり。公立教育は宗教的團體又は同施設、其他私人によりて行はれ、且つ普通教育及び宗教的教育の兩途あり。諸島に遍く活動せる幾多傳道會社によりて設立せられたる學校は悉く宗教的基礎を有し、其幾分は回教に所屬せり。

政廳の設置に係る學校には二種あり、即ち(イ)は和蘭土民學校にして、重に土著酋長及び其他要路者若くは富家たる土民の子弟を目的とするもの、(ロ)は上級學校にして元來は一般土著子弟の教育を目的としたるも現今に至り國立學校(政廳監督の下に人民の設立に係り、若くは必要に應じ政廳の補助を受くるもの)の設立増加せるが爲めに、普通以上高等教育を必要とすべき箇所に局限するごとくなれり。

亦特種官立學校ありて或る程度に於て前記和蘭土民學校に順應し、僅に歐洲人教師を有すれども、目的とする處は地方的特異の要求に従ふにあり、アムボイナに於ける特別學校はアムボイナ城土の子弟に對するものにして、爾餘特種の學校ありて可及的有福階級の土著子弟を收容せり。其他或種の制限を設け歐洲人及び諸外東洋人の子弟を收容するものあり。Kuta Rinja (アチエー)及び Macassar (セレベス)の兩地にはアムボイナ、ターナテ、チモール及びメナドより到るべき耶蘇教徒兵士の子弟に對する特種學校あり。

第三 社會的及政治的狀態

外領に於ける官立學校の土人教師は Fort de Kock、アムボイナ及びマカッサルに所在せる官立専門學校に於て教習を授けらる。準教員に對する一定の普通教課はクタ・ラヂヤ、バレムバン、マカッサル、パンヂヤルマシン、ケンタンガン(西南ボルネオ)及びシンカラヂヤ(バリ)に於て之を授く。

初等程度の和蘭・土民學校の課程は和蘭及び馬來(後者は亞刺比亞及び羅甸文字兩様を使用す)語の讀方及び書方、又土語に於ては算術、蘭領東印度の地理、圖書及び博物學初歩等を以て成る。此種學校の内多數は下級官吏登用試験に對して學生を養成す。次位の學校は更に簡易の課程を有し、少なくとも土語の讀方及び書方を授け、若し同語にして教育用上不適當なる場合は馬來語を用ひ、適宜和蘭語をも加ふることを得。分數を除き、算術も亦之を授く。

本土に初めて國民教育の實施を見たるは漸く一九一二年にして、當年に至り爪哇に現在せる種類の公立學校はスマトラ西岸州に一一一及びベンクレーンに六七之を設置せり。最も當時既に上記二州には行政官憲若くは土民團體の管理に係る初等教育機關を有したりしが、是等は一九一三年公立教育程度の設定に合併することとなり、其結果スマトラ西岸州の公立學校數は三〇二、又ベンクレーンの合計は八三校となり。斯くて一九一四年にはスマトラ全體に互り六八一の公立學校を有するに至れり、此等第一位第二位の學校双ながら一校唯三學級にして各級各日二時間半の課業を有す

る規定なるが故に、一校一名の教師を以て足れり。教員は先づ公立第二位土民學校を満足に卒業し、然る後第二位學校長より一箇年間理論及び應用兩様の教習を受け其檢定を經若くは教員免狀を付與せられたる土人を以て之を補給す。視學官はスマトラ西岸州に八名、ベンクレーンに三名、バレムバンに四名、ラムボン地方に二名及びチャムビー並にリオウ及び屬領に各一名あり。

一九一四年末スマトラ(ラムボン地方及びアチエーを除き)に於ける公立學校は六二二にして其生徒數は男兒三七、八三八及び女兒三、四二〇名なりき。

一九一三年アチエー及び其屬領に於ける一四九の公立學校に七、二四〇名の生徒を有し、各校所屬の教師は特に農業方面の教習を受けたる者を以て之に當らしめ、以て斯業に關する智識の普及に對し效果あらしめんことを期せり。

土民若くは宣教師によりて外領地に設置せらる、私立學校にして所定の條件を遵守する場合政廳の補助を得べし。一九一三年外領に於ける學校及び生徒は左表の示せるが如し。

	公立學校		私立學校	
	生	徒	生	徒
スマトラ西岸州	四九	一三、一六〇	一七	一、三九八
ベンクレーン	二四	五、五四七	六一	四六、三七六
ラムボン地方	一九	三、五四五	一	七三
バレムバン	九	一、九一四	五	一九〇
マレムバン	三二	五、八三六	一	一四二

第三 社會的及政治的狀態



ガヤムビ	七	七四〇	二五	三、七七四
スマトラ東岸州	二一	三、四五六	一六六	一二、五一〇
アチエ	一九	二、八六六	四	五六八
リオン	五	五九五	九	五〇三
パカ	六	九八〇	一	五四
ビリト	二	三三五	一	一
スマトラ合計	一九三	三八、九七四	八四〇	六五、五八八
西部ホルネオ	六	七〇九	七	四四二
南部及東部ホルネオ	二〇	四、七一七	九二	五、七四三
セレンベス	二二	三、四五二	五〇	三、九四六
メナド	一一七	二二、六三七	四〇三	三二、一一二
タナ	二	五三五	一三九	四、九一五
アマボイナ	六五	一〇、五九二	一六一	七、九五八
チモール	二一	二、七〇四	一三六	七、五五一
バリ及びラムボグ	一四	二、三八二	五	三〇七
外領地總計	四六〇	八七、七〇二	一、八三三	一一八、五六二

依是觀之一九一三年末外領地各種土民學校は二、二九三、其生徒數二一六、二六四なるを知る。

### 第四交通

#### 一島内

#### (1) 道路

スマトラの發達は良道を缺けるが爲めに大に阻礙せらる。本島には爪哇と異なり、島の二端に互れる道路の連絡を有せず。若しスマトラ北部に有用の良道ありしならんにはアチエーの平定亦多年の昔風に之を實現するを得たるや必せり。本島の中央山地の如き今猶は僅に貧弱なる林道を有するに過ぎず。

最近メダンよりベラワン・デリー港に至る道路完成を告げしが、其最終區域即ちラプアン・デリーよりベラワンに至る間は延長僅に四料に過ぎざれども、多數の橋梁を必要としたため三二五、〇〇〇盾の巨額を之れが工事に費せり。一九一四年末十五箇所の大工事、又其他幾多の小工事に著手進行中なりき。總工費凡そ一二、〇〇〇、〇〇〇盾の豫算にして、内七、〇〇〇、〇〇〇盾は約五箇年間に於て既に消費せり。一九一五年三、五〇〇料の本道ありて、内約二、七〇〇料は舗装せられ、又六、七〇〇料の支道ありて、内凡そ九〇〇料は舗装せられたり。更に九七〇料の道路開鑿中なりき。

政廳にては旅客、郵便物及び貨物の運搬に對し自動車運轉を行ひ、一九〇七年バレムバンよりベシク・レンに至る區域に河川及び自動車の連絡運輸を開始せり。自動車はベナンギランに於てマタジ及びムシの兩河をバレムバンまで往復航行せるカ・ペ・エム汽船會社の船尾外輪汽船に接続す。抑も自動車は政廳官吏専用の爲めに設けたるも、現今一定賃率を課し個人の利用に之を資すること

となり。バダンを起點とし、新たに西岸州に於ける運轉を開設せり。一九一五年中バレムバン  
 ンクローレン線の乗客数は二四、八二二にして、西岸州線は自五月至十二月四〇、二六七名なりき。  
 又一九一五年前者の行程は凡そ二九〇、〇〇〇哩、後者(自五月至十二月)は約一一〇、〇〇〇哩に上  
 れり。

道路の開鑿及び修理に對しては政廳に於て其直轄區域に限り法定勞役を要請するを得れども、目  
 下開鑿中に係れる人口稀薄の地方を通過すべき主要道路の或る部分の如きは法定勞役を要請するに  
 由なし、蓋し勞役に服すべき土民の住所と工事現場との距離規定以上に及べるが故なり。加之山地  
 に於ける道路の開鑿は頗る困難にして技術的勞働を切要すること多し。

(四) 河 川

スマトラの諸山は東海岸に遠くして西海岸に近在するを以て、西部の河川は其流程悉く短く、又  
 概ね航行すべからず。現に其最大河たる *the Mentawai* の如き、之れが河口に淺瀬あるが爲めに舟運上殆  
 ど其用を爲さざるも、上流の幾部は處々に急瀑あるに拘らず交通の利便なきにしもあらず。スマト  
 ラ西海岸と相對し、間隔約六〇哩の平均距離を以て延長數百哩に連互せる諸島の一系列なかりせば、  
 西部に於ける河川の沖積層地は容易に印度洋深海の併呑する處とならん。

東部に於ては河川の概ね先づ山地を離るゝや廣野を横斷して流るゝが故に、海岸地帯は頗る急速

に沈泥せり。口碑の傳ふる處によればバレムバンの如き今は五五哩の奥地に所在すれども往時海港  
 なりしと云ふ。ムシ(バレムン)河は面積凡そ四、六〇〇平方哩に互れる不健康なる一大沼澤の間  
 に散在せる多數の水路に分岐す。本河は汽船によれば二〇〇哩以上、又小舟を以てするときは三三  
 五哩を溯航するを得。國內の都邑にして河川運輸の便を有せるはバレムバンあるのみ。目下バレム  
 バンよりベンクローレンに至るべき島内横斷の最好通路は汽船を以てムシ河及び其支流たるレマタ  
 ン河を溯航し、爾餘自動車を以てせるものなり。ヂャムビー河は島内最長のものにして、都邑ヂャ  
 ムビー附近に於ける幅員一、三〇〇呎、低水時の水深約一六呎なり。小舟によるるとき本河は凡そ五〇  
 〇哩を航行し得べきも、其下流區域はムシ河に勝りて障礙多し。トバ湖より流出せるアサハン河、  
 及びセルダン並にデリーの兩河も亦僅に小舟を以て航行し得るのみ。クワンタン(インドラギリ)  
 河はチェナコ河の合流點たるチェナコまで可航なれども同處及びレンカットの間は年内河水の涸渴  
 せる時期なり。東海岸の河川は總て泥州によりて其河口を妨げられ、且つ新月並に満月の時期特に  
 河口に起れる高潮の爲めに、附近の水深に異動を生ず。

政廳にては軍隊所屬の技師を補給し且つ深沈作業及びムシ、ケタフン、クワンタン其他の河底  
 より障礙物除去に必要な爆發物を支給したれども、好結果を見るを得ざりき。

(八) 鐵 道

スマトラの西部にはエムマハーフェンをフオート・ド・コック(二四五料)に連結せる一・〇六七米突軌隔の官有鐵道あり、一九一四年同鐵道の輸送に係る乗客は三、〇〇一、〇七九、又其貨物は六三九、六九四噸を以て算せり。該鐵道の工費は港灣及び貯炭上屋を含み、二三、八六九、七六〇盾にして、經常費を差引き純收一、〇一六、三七九盾に上れり。本線の總務部はバダグンに所在す。

本島の南部には前記と同軌隔にて一二料の官有鐵道あり。一九一五年 Telok Betong を Mauna Pinna 及び Palembang に連接せしむべき一線工事中に屬せり。之れが終點驛はテロク・ベトンの南方數哩に在りて、爪哇島の Merak と相對せる Oosthaven なるが、其間聯絡汽船の設備を有す。本線の通過せるは人口稀薄の地方にして、且つ土民本工事を嫌悪したりしを以て其敷設至難なりき。政廳之が官設を決定したる理由は、即ち若し之に私營の特許を與ふるとき必ずや唯敷設の容易にして且つ直に收益を齎らすべき地方にのみ注意を拂ふの弊に陥るべきを以てなり。

アチエー及び屬領には Langkat より Kuta Raja 及び Oleh Lela に至る延長四七一料の狭軌汽動鐵道あり。爪哇の狭軌は〇・六〇米突なれども、本島の軌隔は〇・七五米突なり。本線は之をアチエー汽動鐵道と稱し、元來軍用爲めに敷設したるものなれども、一九一六年に至り軍務省より起業省に之を移管せり。一九一三年乗客二、六二七、〇〇〇人及び貨物二〇九、〇〇〇噸を輸送せるが、内一九〇、〇〇〇名の乗客と一九、〇〇〇噸の貨物とは官用の輸送なり。

スマトラ東海岸にはデリー鐵道會社ありて Teling Tinggi より Medan を經て Pangkalan-Brandan に至る鐵道及び Timbang-Langkat, Belawan, Labuan, Deli 及び Kuala(Kocato) に至れる支線を管理せり。曩にデリー・マールッカペー(會社)に附與せられたる一九七三年まで有效なるべき特許は一八八三年前記會社に之を讓渡せり。本線は東方に於てタンジョン・バライまで之を延長し、又西方に於ては結局アチエー線と連結せらるべし。デリー鐵道會社は亦約一七〇料の軌道線を支配し、加之一九一三年一五〇料の追加線敷設の特許附與せられたり。本社の資本金は四百萬盾にして、一九一四年に行ひたる配當は一五〇萬なり。同社所屬九二料鐵道線の一九一四年に輸送せる乗客は一、七四六、三六四名、貨物三九七、九九四噸にして、該線に對する投資額は九、〇一九、一三二盾なるが、營業費を控除したる純收一、二〇六、三〇二盾に上れり。爾來貨客増加の爲めメダンよりベラソン間は之を複線とするの必要あり。總計約一二四料に互れる鐵道又は軌道線目下敷設中に係れり。

オムピリン炭鑛は從來既に鐵道によりてエムマハーフェンとの連絡あれども、最近更にパレムパシ及び東海岸との連絡を見るに至るべし、今や周密なる計畫を以て中央スマトラに於ける鐵道上の發達を企圖せるを以て、數年ならずして本島兩端に互りて鐵路の連絡を見るに至るべし。

(二) 郵便 電信 電話

一九一四年スマトラには一七五の郵便局を有したり。鐵道の便なき地方に於ては事情の許す限り

自動車を以て郵便の遞送を行ふと雖、橋梁未だ乏しきが爲め自動車の河川橋斷には筏によるの外なきを以て多大の困難あるを免かれず。郵便夫は亦騎馬若くは十舟の便をも用ふ。斯くて若し鐵道軌道の依るべきものある場合は直ちに之を利用連絡す。歐洲來著郵便物の配達を迅速ならしめんが爲には海上郵便局ありてバタバヤ及びバダン間に移動して之が取扱に従ふ。其他カ・ペ・エム汽船會社の多數船舶内には補助郵便局を設く。

一九一四年スマトラには四、九七二軒の地上電信線を有したり。主要郡邑間は相互に電報通信の便あれども、電信線の維持保存甚だ困難なり。本島には爪哇以上に野獸多くして、猿及び象の電信線に加ふる被害繁し。現今工事中に係る鐵道及び道路開通するに至らば電信交通の發達に資する處揚からざるべし。

外領に於ける電話施設は未だ頗る幼稚なれども、バダン並にスマトラ東岸州に於ては市内交換に限り盛んに行はる。最も外領地諸方面には軍事若くは行政用電話の施設を有し、一定の制限を加へ公眾の使用にも亦之を提供せり。

## 二 島 外

### (1) 港 灣

#### (一) 設 備

*Pelawan-Deli* は島の東北に在りて、鐵路ラプアン及びメダンを連結す。港口の水路は浮標を以て示識せり。デリー河は水深三乃至七尋の好錨地たり。埠頭より六哩を距てたる淺瀬に於ける水深は普通大潮時満水一六<sup>1</sup>/<sub>2</sub>呎、普通小潮時一四呎なり。潮水の干満は大潮時に八呎、小潮時に三呎にして、十月より三月に至れる東北季節風期に於て水深低し。

政廳は港の南部に二箇所の埠頭を、又東方六汽船會社は北部に一箇所を築設中なり、當港には五箇の埠頭ありて、各、政廳、太洋汽船會社、カ・ペ・エム汽船會社、北獨逸ロイド及びデリー鐵道會社に所屬し、且つ此等は最端カ・ペ・エム會社の分を除き爾餘悉く大潮干水時に一二呎を下らず、又満水凡そ二〇呎を有せり。一九一三年十二月更に浚渫を進行し、官設上屋も亦建築中なりき。官有浚渫船爪哇號の報告せる處によれば、一九一三年作業の結果淺瀬の小路に四呎の水深を加へ、同年度の工費凡そ二四〇、〇〇〇盾なりき。結局水深を二五呎に達せしむるの計畫なり。埠頭増築費の豫算額は四〇八、〇〇〇盾を計上し、八四、〇〇〇盾を投じて浮起重機購入の計畫あり。ペラワンをして航洋船舶用の港灣たらしむるの目的を以て、工費二、〇四〇、〇〇〇盾を豫算す。

*Panktulen* は西南海岸にありて、往時頗る重要視せられ、一世紀の昔は當地を以て蘭領東印度の最要港たるべきものと信じたり、然れども當今殆んど無價値なるが上に概ね沈泥を以て遮斷せらる。

Padang (Pannatuhven) は西海岸の最要港にして、且つオムピリン炭坑の出炭に對する船積港なり。炭用埠頭一箇所の外、四箇所の埠頭を有し、内三箇所は延長二七八呎、一箇所は一七〇呎なり。干潮時二六呎の吃水を有する船舶の繫留可能にして、最深二八呎までは之を許す。燃料炭積載は一時一〇〇噸の速度なり。水先料は強制せり。港湾改修費豫算額は八八五、〇〇〇盾とし、内一九一三—一四年に支出したる金額一三六、五一四盾なり。

Pangkalan-Brandan には約三三二呎の埠頭一箇所ありて、満潮水深一六呎、干潮八呎なり。パターフスケ石油會社亦數箇の木造棧橋を有し、其總延長約一、三〇〇呎なり。良錨地あり、且つパタラシ河道は夜間瓦斯燈浮標を點せり。一九〇七年水路は幅員凡そ一二〇呎たらしめ、一、二及び三月中の最低水深大潮十水時一二七呎、又爾餘の諸月中一三七呎なり。五、六の兩月中會々大潮満水時の最大水深即ち二一呎六時に上る場合あり。

Sawang はスマトラ北岸沖 Pulau Weh 島にありて、主として給炭港たれども、一九一四年には其貿易高に於て蘭領東印度諸港中首位を占めたり。港口無障礙にして幅員凡そ二、四六〇呎なるが、晝夜共に水先を要せずして安全に出入するを得。海底は砂及び珊瑚にして海岸より三二八呎以内まで水深一五乃至二二尋なるを以て碇泊亦安全なり。給炭用埠頭はサブーン港灣石炭會社の所屬たり。汽船は平水時埠頭に繫留し、大潮時の最低水深三〇呎を有せり。給炭は日夜一時間平均一〇〇噸

の割合を以て之を行ひ、石炭の荷卸は一日二、〇〇〇乃至二、五〇〇噸の割合を以てす。運炭及び液體燃料用埠頭の總延長は三、〇〇〇呎なり。汽船及び汽罐の修理は三、〇〇〇噸の浮船渠附屬の工場に於て之を行ふことゝせるが、該工場は淺瀬船、舢舨等の建造及び電氣鎔接に對する特種設備を有す。

五箇の電力装置運炭機、亦一箇の自動給炭船(九〇〇噸)及び一箇の三〇噸巻浮自動起重機あり。海難救助設備も亦調ふ。石炭上屋は七五、〇〇〇噸の貯藏力あり。煙草其他の商品に對する倉庫ありて、六二、〇〇〇平方呎の面積を包容せり。淡水の供給豊富なり。港湾改修上一九一〇年九一、〇〇〇盾、一九二二年五二、〇〇〇盾、一九二三年二五二、六八三盾を支出したり。

Singkel はシムバン河三角州中の島内に所在し、諸河口には淺瀬あれども、水路良好にして最近浚渫を行ひ以て主要通口は之を改修せり。

其他重要なる港としては Siloga (Silogga)、Telok Betong, Priaman, Bengalis, Oloh Loh Kuta Raja の港)、Natal, 及び Ayer Bangis 等あり。此等は悉く小港のみにして、パダン、バレムバン及びペラツン以外、輸出入貿易上諸外國の船舶に對する開港場はオレー・レー及びテロク・ベトンの二港あるのみ。

(二) 貿易

左表は一九一三年及び一九一四年スマトラ三主要港出入船舶の隻数並に噸数を示す。

船名	一九一三年		一九一四年	
	隻数	噸数	隻数	噸数
サバードン	一、一八四	六、〇〇六、〇〇〇	一、〇二一	五、〇二八、〇〇〇
ペラワン・デリー	一、三九五	一、〇三七、〇〇〇	一、二六一	一、一〇三、〇〇〇
バダグン	八七六	三、〇二五、〇〇〇	八五三	三、〇六八、〇〇〇
ベラワン・デリー、新嘉坡、彼南等の間には断えず汽船の交通ありて、一九一三年中ベラワン・デリーに入港せる船舶左の如し。				
汽船	一七一隻	一四六、八四五噸		
和蘭	二一六隻	三二一、五〇八噸		
獨逸	一八〇隻	一九一、四八六噸		
英國	一九三隻	三七、四四二噸		

(□) 海運航路

カ・ペ・エム汽船會社の船舶は一面スマトラ及び近島の主要諸港並に他面爪哇及び他蘭領東印度の諸港乃至新嘉坡等の間に定期航路を有せり。シボガ、ナタル及びバルスの如き小港に對し、會社は一週一回の定期航路を設け、ベンクーレン州に於けるクロイの如きに對しては二週間一回の定期

船を寄船せしむ。

ロツターダム・ロイド並に和蘭汽船會社は契約の下にバンカ島よりの錫運搬に従事せり。

爾餘スマトラ方面に利害關係を有する汽船會社は北獨逸ロイド及び太洋汽船會社なり。

(ハ) 海底及び無線電信

爪哇及びスマトラは一八五九年以來海底電信を以て接続せり。一八八三年クラカタウの爆發は爪哇アンヂャー及びテロク・ベトン間沈設の海底線を破壊したりしが、一八九四年、今猶使用中に係る一線をアンヂャー及びカリアンダ間に沈設したり。一九一四年バダグン及びバタバヤ間に直通の一線(六〇〇哩)を新設するに至れり。

サバンに無線電信局ありて、聞くが如んば伯林に近きナウエンに在る無電局發の信號を感應し得べしと謂へり。エンガノにも亦一局を設置し、爲めに同島の發達に資したり。其外尙スマトラには無電装置開設の提議あり、蓋し海底線に比し工費低廉なるが爲なり。

第五 産 業

一 勞 働

## (1) 労働供給

スマトラの啓發上主たる障礙は労働の缺乏なり。其島内供給は輸入労働を以て之を補ふこと多大なるが、土著の種族中經濟的目的に對し至要なるはバタク、アチン、ガヨー及びメナンカパウ・馬來人なりとす。

バタク人(約二五〇、〇〇〇)は極めて最近に至るまで總て外來の勢力に對し強烈に反抗し來れりと雖、島内最も有望なる種族の一たり。由來同種族は山地を好めども、今や海岸地方に下りて苦力又は小商店業者として就職せる者多數輩出し、爲めに奥地の商業を啓發せり。民性概ね聰明調法にして木、銅、象牙等の手工に巧なり。

アチン人(凡八〇〇、〇〇〇)は産業に對しては潜在的能力を有せるもの、如くなれども、惡癖ありて奢侈の種族たり。高地のアチン人は狂暴的山賊、又海岸にある同人種は奴僕性にして盜癖多く、無賴、放縱なりと叙說せらる。絹織業は其重なる産業なれども、アチンに於て手藝の業は長期戰爭の結果惡影響を被れり。

ガヨー人(凡六〇、〇〇〇)はバタク人と同性なる高地の種族にして、久しくアチンの支配下に隸屬したり。同種族は勤勉温順なれども、アチン人の強制する處となりて和蘭に反抗せり。木、銅、象牙細工に優秀の職工たる以外、繊細なる原料を紡織し、緻密なる蓆を組製し、且つ良質の陶器を

製作す。

メナカパウ馬來人はバダンの高地に住し、土民中最も開化せる種族にして、臨機事物を學ぶに甚だ敏速、隨つて商人として又農民として優秀なり。居常優者に向つては屈從的にして、又劣者に對しては傲慢に流れ易く、概ね正直ならず。然れどもスマトラに於ける農事状態の爪哇に於ける最盛地域に類似せるは唯此土民中に於て然るのみ。

オリムピン各炭坑の鑛夫は主として土著囚徒なり。一九一四年末鑛夫の全數六、九三九なりしが、内三、二二三名は現囚、爾餘の大部分は免囚の就業に馴れて勞役繼續を契約せる者を以て成れり。

外來の労働者中に有力なる要素たるは支那人なり。實際上日用品の商業は同人種の掌中にあるのみならず、熟練なる労働者階級をも供給せり。其重に従役せるはデリー煙草農園、パンカ及びピルトンの錫鑛山、スマトラ及びリオウの伐木業並にリオウ及びバンカの胡椒園地等なり。嘗て獨逸の一商社の如き毎年二五、〇〇〇の支那人を煙草農園に輸入雇用するを例とせるが、其大部分は三箇年の定期契約終了後歸國したるもの、如し。然れどもスマトラに在る支那人の大多數は同島に於て生れたる者なるが、移住者に比し身體強健ならず又業務に勤勉を欠く。スマトラに於ける煙草栽培の成績爪哇に優りて良好なる理由はスマトラ園地に從業せる、厦門及び汕頭より渡來したる支那人の、爪哇にて使役せる馬來苦力に比し伶俐なるに因るもの、如し。錫鑛山に使役せる支那苦力は厦門及

び廣東に於ける人口中の粗悪分子より成れり。

爪哇労働者にして契約の下にスマトラに移住するもの漸次増加す。一九〇九年スマトラ東岸州に於て就役せる此種労働者の數約四五、〇〇〇に達せり。スマトラ土民は鐵道工事の服役を嫌忌せるを以て、南部スマトラに敷設の鐵道に對し、労働者供給の爲め、爪哇に於て特別移民事務を開設したり。一九一四年同鐵道のバレムバン區域には二、九〇一名又テロク・ベトン區域には五、七一六名の苦力を輸入せり。然るに同年末に於て使役したる苦力數、バレムバン區域は五、〇九六名又テロク・ベトンは四、一一三名なりし事實を以て觀るときは、前者に於ける工事に或は土民の参加したる形跡あるが如し。然れど後者に於てはラムボン地方の土民は全く與かる處なからむ。

□ 労働状態

備主及び被備人間の關係は苦力條令に依り、又若し該條令に依らざる契約は特種法律に依りて之を施行す。外領地一般と等しくスマトラに於ては備主所有農園の所在せる地方に屬する労働者との契約は苦力條令に據りて之を禁せり。當該禁令には同地方内に於て出生成長したる東洋人の子孫を含めり。

苦力條令に準據したる契約は繼續三箇年又は以内の期間を以て之を締結し、規定の様式に従つて作成す。當事兩者の權利義務を細別し以て壓制等の弊を防止せり。一日の勞務時間を十時間以内と定め、契約満期の場合若くは其以前労働者にして其義務を履行し得ざるに至れる場合、備主は之を其募集したる箇所に送還せざるべからず。備主の多數は労働者の優遇を以て自己の利益たるべきを認め、農園主中には活動寫眞乃至土民の樂器等の設備を支給せるが如き者あり。農園にては労働者に食物を支給せざるを例とせるも、其主要食料品たる米は備主側にて何等利益を見ず一定の價格を以て之を供給せり。政廳にては充分に有資格の歐洲人又は土著醫師の醫療に従ふべきことを強要す。多數農園に於ては各自私立の病院を有するもあれど、更に普通の方法は數箇の農園共同して中央病院を建設するにありて、此種のものには模範的とも稱すべき施設を有せり。備主は労働契約の違反に對しては科料に處せらるべく、被備人も亦不從順、脱走の教唆、就業拒絶、争鬭若くは辭職等に對しては科料又は禁錮に處せらる。苦力條令の下に雇用せらるる労働者は總て政廳之に登録す。苦力條令に準據せざる對労働者契約は一定の期限を以て口頭又は文書に依るを得れども、労働者の氏名は登録するを要し、該帳簿は何時たりとも官憲の檢閲に供備すべきものとせり。

錫嶺山に於ける支那苦力は或は組々を以て契約し、又或は直接政廳の監督下に之を備入す。苦力側代理者若くは労働請負人に對しては苦力輸入に係る全體の費用、即ち旅費、契約金、手數料、健康診斷料及び一日に付一二〇盾の割を以てしたる賃銀額等を含みたるものを支拂ふ。苦力各人は勞銀として一箇月十二志六片の割、並に食料一日約四片の支給を受く。苦力は少くとも一箇年間服役



するを要す。然れども往々にして満期後と雖、單に負債の嵩みたるが爲めに解約するを得ずして鑛山に止まり服役する者あり。一九一三年契約を完了したる一二、五四七名中、支那に歸還せるは約一八物に過ぎざりき。

傭主には實有資格の苦力募集代理人の仲介を経るの外、労働契約締結の権限を附與せず。蓋し該代理人に於て健康診断料、旅費其他の諸係全部を支拂はしむること、せり一九〇八年募集費一人當り凡そ六五盾に達したりしが、一九一四年には一二五盾以上の金額に上れり。一九一四年外領地全部、而かもこは主としてスマトラと云ふも不可なきが、其の契約労働者を以て従業せる農園數四〇〇箇所、労働契約登録の數一三三三、二〇三筆を算したり。就中七二、三九七筆は土民、五九、〇一二は支那人、又一、七九四は錫倫、ベンカル其他より來れる労働者なりき。

## 二 農 業

### (1) 商業的有價産物

植物産物 野生護謨、樹脂、藤及び竹材の如き多種林産物以外、本島には諸多の貴重産物あり。農業は大略之を歐人及び土人經營の二種に大別するを得。歐洲人栽培者は殆ど全力を歐洲市場向き大口産物の取得に傾注せり(即ち護謨、煙草、茶、珈琲、コブラ等)、土農は主として米、玉蜀黍、

甘蔗、檳榔椰子及び蔬菜等、即ち自己の要求を満たすのみなれども、近來彼等も亦漸く市場向きの産物栽植の傾向を生じ、棉、カボック、阿仙藥、胡椒及び肉豆蔻の如き土著の消費に對する産物の小規模栽培に従へり。

檳榔(一名ビナン)椰子 はスマトラの椰子樹中、管ココ椰子を除いては即ち其至要産物たり。土民は之れが果實即ち檳榔子を得んが爲め到處同樹を植ゆ。其未熟果實は赤痢の療劑として之を用ひ、又寒胃豫防の爲め畜牛に給與す。然れども東洋に於ける其主たる消費は熟實咬用の一般風習に之を歸すべし。樹木は諸般物品の製作に、又樹葉は漁絲、漁網の染色に使用す。主たる輸出地域はアチエー及びバレンバンにして、一九一三年アチエーの輸出額は一二、〇九一噸、内一一、五六五噸は蘭領東印度以外に仕向け、またバレンバンは四、六四九噸を輸出せるが、内三、八三七噸は蘭印以外に出でたり。檳榔子は重に新嘉坡及び彼南に送らるゝも、獨逸並に米國にも亦可なり之を出せり。

規那 はスマトラ西岸州に之を栽植す。一九一四年六月同州には四箇の規那園ありて、同樹專植面積一一〇バウ(一バウ $\frac{1}{2}$ 英町)、又他物混植一〇〇バウを有したり。

ココナツト椰子 はスマトラ諸州中廣く之を栽植し、下記は一九一七年の樹數を示す。

	結 實	未 結 實	合 計
スマトラ西岸州	二、〇〇九、五八五	一、三五五、七六〇	三、三六五、三四五
同 東岸州	一、二五四、八二一	一、八六八、五七三	三、一一三、三九四

## 第五 産 業

第五 産 業

リョウ及び屬領	二、七〇四、三四八	三、〇四五、七九四	五、七五〇、一四二
ラムボン地方	八七六、一三一	四八九、八九五	一、三六六、〇二六
タバヌリ	五四八、〇六九	六一〇、三四三	一、一五八、四二二

ココ椰子農園は主としてリョウ、スマトラ東西兩岸州及びアチエー等に於て歐州人之を經營せり。本品は各島相互の間に商取引はれ、バンカ及び屬領は一九一三年二八九、〇〇〇箇をヂャムビーに、又ラムボン地方よりは六七二、〇〇〇箇を爪哇に送りたり。一九一三年他島に對する輸出を加算し、スマトラ西岸州は一五、四七三噸、同東岸州は五、四〇四噸、又アチエー及び屬領は三、九〇九噸のゴブラを輸出せり。スマトラ西岸州よりは亦若干ココ椰子油の輸出あり。ココ椰子纖維を以てせる掃尾、絲類の製造は蘭領東印度に於ては多大の進歩を見ず。

一九一三年スマトラに於けるココ椰子專植の地積は約六三、〇〇〇英町にして、他物混植の園地は六七、〇〇〇英町を有せり。マストラ東岸州には歐洲人會社の椰子園は一四、二五八英町あり。土民の栽培業の發達を痛く阻礙せるは支那人の仲介業者にして、彼等は果實の樹上に生育せる時期夙に土民に前貸金を行ひ以て過廉の價格を以て之を買收し、殆んど土民を掠奪して餘す處なきなり。此種方法の結果たるや土民をして產品の良否如何を顧慮する處なからしむ、蓋し之を以て利するは仲介者のみなればなり。土民は亦ゴブラの乾製上惡習に陥り易く、量目を増さんため往々他物を混和するの風あり。斯くて一時バダン産ゴブラの如きは未熟の果實を採收し之が乾製に火力を用ふるの

惡弊に陥り其聲價を失墜し、事實上全く販路を閉塞するに至れり。現今本取引には統一を缺き、假りに一商人の品質拙劣を理由としてゴブラの授受を拒めりとせんに、他に商人出て來りて自己の賣約關係の窮況上、該劣等品を故意に買入る、者あるの情態なるが故に、組合組織の設定を見んこと緊要の問題なり。

珈琲。は久しく強制栽培を行ひ來りたるも一九〇八年に至り之を撤廢せり。一九一三年スマトラ東岸州には三〇、〇〇〇英町のロプスタ、又六、〇〇〇英町のリベリア種の珈琲園を有したり。園地の多數は護謨の如き永久的作物を以て混植を行へり。一九一三—一四年期のスマトラ産額はロプスタ三六、八一七擔、爪哇(アラビカ)四九、八七五擔及びリベリア七、七〇九擔を算せり。一九一四年の概算に依れば、他物混植の面積四一九、〇〇〇英町及び珈琲專植二七、五〇〇英町を有し、東岸州産を以て最も優良なりと謂ふ。政廳のスマトラに於ける珈琲産出は其數量と品質と共に未だ爪哇に於けるものに優るを得ず、隨つて爪哇に於けると等しく、所屬の土地を長期借地たるが儘に放任し、政廳直營の珈琲栽培は漸次之を廢棄するの傾向あり。スマトラより珈琲の直接輸出は之を行はず總て一先づ爪哇の市場に之を送れり。

棉。は主としてバレムバンに之を栽植す。土民の産棉は纖維短くして商的價值少なし。政廳にてはバリー及びロムボクに倣ひ、優良なる外國種を移植し以て產品の品質を改良せんが爲め種々の方

法を採用し、長纖維ボルボル棉を輸入試植せるが、新設護謨園の栽植用として大に適せるもの、如し。然れども歐洲人の棉花栽培は猶未だ微々たるものにして、棉産の大部分は一般に稻との輪作を以て土農の栽培する處なり。バレムパンの生棉輸出額は一九〇四年の六、〇〇〇噸より漸増して、一九一三年には七、九〇〇噸となれり。一九〇四年には未だ製棉の輸出を見ざりしが、一九一三年に至りて四一一噸を輸出し、内三八〇噸は直接に海外即ち主として獨逸に送荷せり。バレムパンには數多の製棉工場を有し、其最も名あるはヂャムビー會社の所屬なり。

米國は其棉花産額に對し益々國內に於ける之れが消費を増加し、世界市場に輸出せるは唯に其剩餘の部分に過ぎざるの形勢なるに鑑み、蘭領東印度に於ては棉花栽培の奨励に對し強烈なる運動ありと雖、土産の棉花は生棉の儘之を送貨するときは歐洲市場に重きを爲さず、隨つて現狀を以てしては單に日支兩邦に顧客を得るに止まらんのみ。生棉をして歐洲市場に適せしめん爲め除實せんに之れに使用の機械高價なるが故に、土著栽培業者の能く購入使用に堪ゆる處にあらず。是を以て若し棉花栽培の主要中心地に於て大規模の施設を備ふるを得ば問題は立處に解決せん。然れども棉花供給に對し一定不變の保證あるに非れば高價なる工場設備を容るすべくもあらず。されど幸にして此種工場の創設を見るに至らんか、必ずや栽培業者の激勵となり、而かも支那人仲介者の羈絆を脱し、更に現在に於て思ひ及ばざる賣價を得、且つ副産物として油及び飼畜用食料品を製出する

ことを得べし。

棉實運賃甚だ高率なるが故に蘭領東印度に於て、同品の製造行はるゝとせば經濟上重要な利益たるべし。目下種實の輸出をなすはバレムパンあるのみ。一九一三年の輸出凡そ五〇〇噸（價額四一、〇〇〇盾）にして其殆ど全部は之を英國に積送したりしが、最優良種の種實十二噸は之を外領地諸方面に送りたり。

阿仙藥ガムシム は重に之を爪哇へ輸出す。一九一三年六、六八九噸をリオウ及び屬領より輸出したりしが、多くは新嘉坡を經由せり。

落花生カボック は益々其重要味を加へ、二毛作物として人氣あり、蓋し本品は地力を要すること頗る薄く、且殆ど灌漑を要せず、加之土壤に對して必要なる風化作用を與ふるが故に却つて米作の爲に地質を備ふるものなり。スマトラ西岸州よりの輸出は一九一〇年を初めとし、フォート・デ・コックに於ける農事顧問の報告によれば、同年の輸出額六、〇二四擔、又一九一二年には一一、三五〇擔に達せりと謂ふ。バレムパンに於ける土著農民は主として官營試驗栽培の成績によりて落花生に其注意を轉換することとなり、異常の熱心を以て此新業を採擇するの盛況なるが故に、或は同地方に於ける棉花栽培を凌駕せんも測るべからず。

カボックカボック は組織的栽培の範圍大ならず。生産額の大部分は歐洲人農園の路傍又は胡椒園地混植

のカボック樹によりて供給せるものなれども、尙ほ丘陵地帯にして肥沃なる火山性土壤を有し以て玉蜀黍其他食用植物と共にカボック樹の栽植に好適せる處あり。本品の輸出先は主として和蘭なり。一九一三年アチエーは一四一噸、又バレムバンは三二五噸を輸出せり。右風土著の壓碎法によりて搾取せる油は重に之を石鹼工場に使用し、其一少部分は之を家事に消費し、且つ壓搾後の殘滓は之を以て家畜の食料を製出す。土民は纖維と種實とを分離するに必要なる高價の機械を有せざるが爲め徒らに多量のカボックを耗失す。

玉蜀黍は外領地一帯に於ける一般、殊に米作不況の際の常用食物なり。之れが栽培は各種の地面、殊に山地に多く行ひ、産品は特に土民の間に消費せらる。

米は土民農作の主産物たると共に其主要食料たり。稻の栽培はスマトラ到處に之を行へども、水田法はバダン地方及び小區域のアチエー竝にバレムバンに於てのみ之を適用せり。輸入に勝りて輸出を行へるはスマトラ西岸の一州あるのみ。一九一三年精米の輸出入左の如し。(單位米噸)

	輸 出	輸 入
スマトラ西岸州	二、八九二	一、〇五五
ダバヌリ	三五	六、一一一
バングーレン	一	二、三三一
ラムボン地方	八	四、四三九

バレムバン	二、一一二	一〇、〇九二
ゲヤムビ	二四九	二、九五二
スマトラ東岸州	三六五	九九、五八六
アチエー	六五	一一、三六九
サカ	一、四七一	一一、二五〇
パンカ	一	二七、六五五
ビト	一四〇	五五〇
合 計	七、三三七	一七九、三八九

護謨は最近數年以降著しく發達して重要となれり。一九一一年末の推算によれば、スマトラ東岸州には護謨栽植の地積一五〇、〇〇〇英町を有し、一九一二年中凡そ五五、〇〇〇英町を加へたりと謂へり。同二箇年中、和蘭に於て登記して合衆國に本部を有せる蘭米栽培會社 *Hollandische Amert-kaansche Plantage Maatschappij* 單獨にて二七、五〇〇英町の護謨栽植を行ひたり。一九一三年末スマトラ東岸州には二一七、三〇〇英町のヘヴィア種、又約六、〇〇〇英町のフヰカス種を以て栽植したる地積を有せり。アチエーのランサルには政廳管理の護謨園ありて、一九一四年六月栽植地積四六八バウなりき。其當時スマトラの護謨園總數は二一三箇所、内一八四は東岸州、一七はアチエー及び屬領、爾餘の一二はランボン地方に所在せり。スマトラ東岸一州のみに對する一九一九年護謨産出豫想額は二九、〇〇〇噸なるべしと稱したり。

一九一六年東岸州よりせる園地産出護謨の輸出總額は一九一五年の七、一〇九米突噸に對し約八、二〇九噸なりしが、仕向地凡そ左の如し。(單位米突噸)

合 衆 國	一九一五年	一九一六年
英 本 國	二、〇三七	四、一七〇
海 峽 植 民 地	三、五九一	二、八一八
和 蘭	五二四	一、一九七
伊 太 利	九四六	一四
加 奈 陀	一一	一〇

香料 歐人企業としての香料栽培は廢棄の傾向ありしかども、一九〇四年より一九一三年までの期間スマトラ西岸州、タバヌリー及びアチエーに於ては土民の之を栽培する者著しく増加せり。一九一三年スマトラより肉豆蔻の輸出は、蘭領東印度の諸他島への分を含み肉豆蔻四〇〇噸及び荳蔻花六九噸にして、同年スマトラ西岸州の諸方面へ輸出せるは二六二噸なりき。丁香は由來モルツカスの重要産物なるが、一九一三年凡そ四三噸をベンクーレンより、又少量をタバヌリー及びスマトラ西岸州より輸出せり。胡椒は蘭印諸島の島々へ向つて多く之を輸出し、ラムボン地方の黒胡椒は殊に之を爪哇に移出したり。一九一三年中白胡椒輸出額五、〇〇〇噸の内、バンカ及び屬領は二、七七九噸を輸出し、又同年黒胡椒輸出一九、〇〇〇噸の内、ラムボン地方は一、五三七噸、アチエー

は三、〇二〇噸を出したり。

茶 は一九一二年初めてスマトラ東岸州に栽植し、當地の園地凡そ二、〇〇〇英町なりき。一九一三年約六、〇〇〇英町を栽植し、斯くて一九一七年の栽植面積は一二、三五〇英町以上となりしも、生産せるは四、二〇〇英町に過ぎざりき。スマトラの山地一帯は特に栽茶に適し、最好結果を得るは一、〇〇〇乃至二、五〇〇呎の高度に於ける濕氣ある地點なり。本島の産茶は概ね英國に於て販賣せらる。初回の茶積出を行ひたるは一九一四年なりしが、一九一六年總産額は三、三七七、八〇〇封度なりき。

煙草 は外領中、スマトラに於て最も廣く之を栽培す。スマトラ煙草の種子は元來爪哇より到れりとも雖も、本島の氣候、土壤乃至従業苦力の優れたる知解等によれる利點あるが爲めに煙草の品質は頗る佳良なり。爪哇煙草は生産費低廉にして品質均等なるが、最良スマトラ品は色彩品質共に甚だ優良而かも薄くして絹布に似たる葉片を産し、爪哇栽培者の到底及ぶ處にあらすして、葉巻製造用としてはハヅアナ産獨り之れに優れるのみ。土民は亦土産煙草たるクロソツクの多量を産出す。

デリー會社 Deli Maatschappij は一八六九年デリー地方に於ける煙草栽培の爲めに設立し、七五〇、〇〇〇磅の資本金を有す。煙草栽培業者に科學的指導を與ふる目的を以て試験所をメダンに設置せり。一九一三年スマトラにある九九の農園を以て、一九、九三三、〇〇〇斤を産出したが、翌

年には一二三の農園にて五、三五一、〇〇〇疇を出せるのみ。一九一三年デリーの輸出二五、七七七噸、價額六九、五九八、〇〇〇盾なりき。デリーに於て煙草栽培の益々増進せる外、スマトラ南部及び西部兩方面に於ける産額亦多量なり。

生畜。スマトラに於ける最も有用なる馴畜は水牛なり。一九一三年水牛三二三、二八〇、畜牛二九二、二〇〇及び馬匹六一、三〇〇頭を有したり。畜牛、水牛、角及び獸皮共に之を輸出す。回教徒は特にニアス竝にタバヌリーに於て豚を飼養せり。鹿類多産し、普通其肉は之を乾製して廣く食用となす。

□ 耕作の方法

蘭領東印度に於ては米穀を以て文明人の産物として重要視するが故に、住民の文化程度は其行へる米栽培の多寡によりて之を測定し得べしと云ふも過言にあらず。本島には米作一般に行はると雖も、然かも土民は依然として狂信的愛著と宗教的熱情とを以て舊來の方法を固守し、改良甚だ困難なり。是に於て水田式耕作の方法は、嘗て印度・爪哇移住者より之を繼承したる若干の地方に行はるるに過ぎず。

蘭領東印度には一九〇五年創めて農務省の設置を見、其主たる目的は土民農業の向上を計るにありき。一九〇八年外領に於ては土民農業の検査官補、又一九一〇年にはアチエーに一名の農事顧問

及び本島爾餘の地方に對し同二名の任命を見たり。現今スマトラ西岸州及びベンクローレンに對し二名の農事教師及びアチエー、バレンバンの兩地に對し二名の農事顧問在任せり。

米穀の輸出入關係を見るに當りて組織的政廳援助の如何に必要なかを知るを得べし。土民をして其生産額増進の可能と之れが方法を悟らしむるには間斷なき勸誘と、又特に近代式方法の下に栽植を行ひたる試験的米田の實見とに依らしむるの外あるべからず。諸般の講演を行ひ以て土民の指導に努め目今漸次幾分の改良を見るものゝ如し。より良き植付方法、より良き種稻の使用及び灌漑の改善等大に産額を増加する處あるべし。方今米輸出の輸入を超過せるは單りスマトラ西岸の一州あるのみなるが、同地にてはバリサン諸山の中央高原に流るゝ急河を利用し水車の方法により灌漑を行へり。

尙ほ亦土民消費の爲めには豆類、玉蜀黍、澱粉、甘薯等、又商用目的に對し油種子類、落花生、煙草等の如き「二毛作」植付に就き指導を怠らず。土民は多年生の作物を栽培して之を賣り、依りて得たる金銭を以て自用の食料品を購求することを甚だ悦ぶ。

ハ 林 業

スマトラは森林の富源莫大なれども、其開拓殆ど未だ行はれず。森林地帯の發端は爪哇に比し遙に其高度低くして、樹種を擧れば檜、栗、チーク、白檀、烏木、其他脂木（特に樟、安息香及びダ

マル）及び椰子等豊富なり。バレムバン産出の木材はスマトラ南部に於ける鐵道敷設上廣く之を用ひたり。

一九一三年スマトラには四箇所の林政區を設定したりしが、其以前爪哇マドウラ以外には林政の施行之なかりき。一九一四年外領の林務官五二名、其多數はスマトラに勤務せり。其主たる目的は林地の位置、構成及び状態に對する準備的調査研究にあり。森林伐採は特許を得て初めて之に従ふことを得るも、特許の後一箇年以内に著手せざる時は之を取消さるゝことあるべし。特許申請の數許多に上れども就業する者稀れなり。バレムバン土民慣行の濫伐を防止せんが爲め、取締規則を制定し、中に課税の事項を加へたり。ラムボン地方に於ては種々の目的に對し廣大なる土地を以て永代借地たらしむるの必要あるが故に井泉を有せる數多森林地積を保存することとせり。

新嘉坡の木材貿易は殆ど全くスマトラ本土及びリオウ・リング諸島よりせる輸出に俟つの状態なり。本貿易は之を「バンダロン事業」(バンダロンとは支那人の請負契約の意なり)と稱し伐材には支那人を使役す。

一九一四年「バンダロン事業」の内容を舉げば角材製出場九三箇所、薪材伐採三七箇所、板材製挽一〇箇所及び木炭製造七一箇所を有したり。木材は概ね角材として新嘉坡に輸出し、同地に於て再輸出に先だち之を製板せり。一九一四年木材税によれるスマトラ政廳の總歳入は一〇〇、四三五盾に

して、前年度は一三〇、八八三盾なりき。スマトラの西北、シマルー島に於ては一九一四年二箇所に大森林特許權下付せられたり。

### (二) 土地享有

先づ政廳の認可を受くべきを條件とし、多數の土王サレワンには特許下付の權限を許せり。本書姉妹篇「爪哇マドウラ」に所載したる土地享有法の概説はスマトラに於ける政廳直轄下にある區域に對しては亦之を適用し得。凡て政廳に於て土地及び下壤の所有權を要請すと雖も、本島の大部分は測定だに未了の儘たるが故に官憲の監督を必要とせるは僅に部分的たるのみ。和蘭政廳は直接外國人に土地の特許を下付せざれども、蘭人特許所有者には其所有地の讓渡を許可せり。

### 三 漁 業

スマトラ沿岸の魚族に豊富なるは遙に爪哇に優れりと雖も、太島水産の主要業務は全く地方的需要の供給に止されり。スマトラ東岸州、レカン河口に所在せる *Bagan Si Api Api* は輸出の中心地たれども、本河の沈泥甚だしく漁業の爲めには益々不便を加ふ。然れども同地に於ける干鹽兩製の魚類産額は一九一三年二〇、四〇〇噸を下らず、大部分はスマトラ東岸州の消費する處となれり。ベシカリス亦許多の干魚を移出す。鯨クジラの鱈ウナギは支那人に之を賣り、且つ印度鯨クジラ即ち *Trubuk* の耶製品及び

乾肉は廣く之を移出せり。鱈、鮪及び鰯魚は海に、又鯉、鯰及び鰻は河に豊産す。蟹類も亦甚だ多し。

### 四 鑛 業

由來スマトラは鑛産の富偉大にして、思ふに最も貴重なる鑛脈の未だ世に知られざるもの亦多かるべし。

石炭 巴タン高地内(Swahilinto)に近きオムピリン炭坑は一八九二年の起業たり。一八九二年乃至一九一四年の間凡そ五、三二〇、四七五米突噸を採掘せり。同炭坑は官營に屬す。炭田の面積は凡そ縦一〇軒横九軒にして、包蔵大約二億噸と推定せられ、層厚二三米突に及ぶものと謂へり。炭姿光澤ありて黒く且つ清潔なるを以て、蘭領東印度産中最も優良種として一般に好評あり。燃性亦佳良點火容易にして光輝ある火焰を發せり。灰燼及殘滓輕微にして、煙煤少なし。

出炭の大部分は民間の買主に之を賣捌くことゝせるが、一九一三年總産額の八〇%、又一九一四年には七六%に達したり。爾餘の殘額は政廳殆ど之を使用せり。民間買主に對する石炭の受授はエソマハーフェン(延長一五六軒の鐵道によりてオムピリンと連絡す)に於て之を行ふにあらざれば新嘉坡、スラバヤ、マカツサー及びタンジョン・プリオク(バタバヤ)に積送す。

産額は急速且つ堅實に増進し、一八九二年即ち創業の第一年には一、七五八米突噸なりしが、一八

九三年には既に四六、〇七五噸となり、一九〇三年には二〇一、二九二噸、且つ一九〇九年には三二五、〇〇〇噸に達したり。一九一四年には出炭額従前以上の大量に達したり、蓋し需要の供給を超過せるの好況を見たるが爲めに、總て設備に係れる附帶工事は之を中止し以て、實際的採炭に對し全力を集注したるによる。同年の採掘總量四四三、一四一米突噸は即ち蘭領東印度の主要炭坑によりて供給せる六〇九、八八八噸に對しては其割合頗る大なりと謂ふべし。

オムピリン炭坑の財政状態は一九二一—一九四年に對する左表を以て最も良く之を示すことを得ん。即ち

	一九二二年	一九一三年	一九一四年
出 炭	四〇七、四五二	四一一、〇七一	四四三、一四一
收 入(盾)	三、六一四、二〇八	三、六七八、一三八	四、一〇四、六八九
經 常 費(盾)	三、二七六、〇六八	三、三〇九、〇五一	三、六〇四、九五四
純 收(盾)	三三八、一四〇	三六九、〇八七	三三八、九〇九

一六〇、八二六盾は金利として一九一四年に至り初めて純收より之を控除せりと謂ふ。

ベンクレーン州にも亦石炭ありて、其位置はベンクレーンより奥地へ七〇哩を距てたる地點にして、濠洲系の會社に於て一和蘭會社を経て之が採掘權を所有す。

バラムバン州にはルマタン拓殖組合 Lematang Explorative Syndicat 一八九六年以來採掘に従事



せりと雖も出炭年額一、〇〇〇噸を出でたることなし。蘭領東印度政廳は同州内ムアラ・エニム附近、新設南スマトラ鐵道沿線たるタンヂェンに良好なる汽用石炭を目下採掘せり。同炭はオムピリン炭にも優れりと謂ふ。一九一八年三月出炭二、五〇〇米突噸、五月には凡そ五、〇〇〇噸に上り、近く月額二萬噸に之を増加せん希望なり。

インドラギリにては *Tjauko Steenkolen Maatschappij* 社に於て採掘權を有すれども出炭を見るに至らず。ラムボン地方内、タバヌリー灣(アチエー)及びバダン附近のタババンにも亦炭田あれども、之亦未だ出炭を見ざるなり。

銅。はスマトラ西岸州バニンガハンの谷地に豊富なりと稱するも、採掘に著手せず。

金。の採掘は耶蘇曆以前スマトラ及びニアス島に之を行ひたるもの、如く、十五世紀の末葉永く荒廢に歸したる遺坑の葡萄牙人によりて發見せられたるものありと傳ふ。幾世紀に互れる口碑を以て觀るに *Talaman* 山(即ち *Ophir*) なるものはソロモン王金山の所在地と同一物なるもの、如し。一九一四年スマトラの産金額は二、〇〇〇噸以上にして、一九一五年には三、七六四噸に上れり。

本島の金は脈床、第三紀砂礫床並に沖積層及び海濱地層中に之を發見す。土民はアチエー、タバヌリー、ヂャムビー及びバレムバンの河川に於ては沈澱物を洗滌し、若くは舊來の坑道法によりて第三紀床中に採金を行ふを常とすれども、更に重要なる金鑛會社は全然脈層を以て採收の目的物となせ

り。目今新設金鑛の中心地はバダン附近をトし盛んに開拓中に屬す。

スマトラの主要金鑛はベンクローレン州に於て *Erdmann & Stalcken* 社の經營せるものにして、*Rejang Lebong* の資本金二、五〇〇、〇〇〇盾、*Ketahun* の同額資本、及び *Simau* の資本金一、八七五、〇〇〇盾の三鑛山なり。一九一四年同三箇所よりの産金二、一〇八噸、即ち蘭領東印度總産額の六割にして、又銀の産出は九、九一〇噸、即ち蘭印總産の三割を算せり。一九一一年レヂャン・レボン鑛山の産金額は四、二八〇、三七五盾、クタフン鑛は八一三、七二五盾及びシマウ・鑛山は一、三〇六、八〇〇盾に上れり。

レヂャン・レボン地方として知らるゝ地域はベンクローレン港市の北方約五〇哩に位す。鑛脈は時に或は延長四料に互るものありて、金鑛の處分に對しては到處水力を使用し得。採銀は採金と共同に之を行ふ、蓋し東印度に於て銀は必ず金と共に平均三對一の割合を以て之を發見するを以てなり。一世紀以前レヂャン・レボン金山に到らんとするには峻嶺密叢の難路に依るの外なかりしかど、今や自動車の疾驅に適すべき良道ありて、往時三週間を要したるベンクローレンよりせる旅程は僅々三時間を以て事足るに至れり。

レヂャン・レボン金山にては一九〇八年一〇割の配當を公表し、爾來の配當率左の如くなりき。即ち

(單位百分比)

第五産 業

一九〇九年	八五	一九一三年	一五
一九一〇年	九〇	一九一四年	一五
一九一一年	五〇	一九一五年	一五
一九一二年	二五	一九一六年	一五

ケタフン金山にては一九一二年より一九一六年まで配當を行はず、且最近に至りては金鐵の品位低下せるもの、如し。初回の配當は一九〇三年普通株に對し一六バ・セント、又優先株に二五バ・セントを支拂ひたり。シマウー金山の初次配當率は一九一二年二〇バ・セントにして、爾後四箇年は各二〇、三〇、三〇及び一七バ・セントなりき。

鐵。はラムボン地方に於て一小範圍に歐洲人之を經營し尙ほタバスリー、スマトラ西岸州及びベ

ンターレン等にも亦散見す。滿俺及重石鐵。はスマトラ及びバンカ島に在れども鉛鐵と共に未だ嘗て廣く之が採掘行はれざるなり。

石油。蘭領東印度に於ける石油事業に對し第一次採掘權を下付したるものは一八八三年スマトラの北部ランカットの地方 Teraka Dait に所在し、一八九〇年 Royal Dutch Petroleum Company の繼承したるものなるが、バンカラン・プランタンを跡る凡そ七哩なり。同社は亦 Tamiang 及びバンレムバン州内著名のムアラ・エニムに穿井せり。現今スマトラの油井は全部 Batubische Petroleum Maats-

schappij の支配下にあり 同社は一九〇七年和蘭に於て創立せるものにして、一三、二〇〇、〇〇〇磅の資本を有せり。當社は Royal Dutch Petroleum Company 及び Shell Transport and Trading Company 兩者の利害關係を結合せるものにして、資本金を五分し之を三及び二の割合にて分有せり。

一九一二年スマトラ東岸州よりの輸出は海峡植民地、支那、英領印度、英領亞弗利加及び濠洲へ積送したるケロシオン油四三、六九八、四八四ガロン、海峡植民地、濠洲及び南亞弗利加へ積送のベンジン油三八、二四九、五一ガロン、及び海峡植民地と英領植民地へ積送したる液體燃料一、四二三、二二〇ガロンなりき。

一九一〇年の頃スマトラ主要石油産地の産額推定左の如し。即ち

礦區名	州名	米突噸
Mtara, Koin	バンレムバン州	一一二、〇〇〇
Krang, Ringin	同	一四、〇〇〇
Banjarsari	同	一一、〇〇〇
Kabat	同	一一、〇〇〇
Sutan Jering	同	一〇五、〇〇〇
Lematang	同	二五、〇〇〇
Telaga Sidi	スマトラ東海岸	一〇、〇〇〇

第五産 業

Batavia  
Batavia

同

一三五、〇〇〇  
二三〇、〇〇〇

Yakarta  
Peroula

アチエー

二二〇、〇〇〇

一九〇七年バレンバン州は七二、〇一〇、〇〇〇ガロンの石油、スマトラ東岸州は三〇、六〇五、〇〇〇ガロン及びアチエーは五四、四三〇、〇〇〇ガロンを産出せり。

一九一三年スマトラ北部に於ける油井の産額は二九〇、〇九七噸、又南部にては二三一、八五〇噸なりき。

ヂャムビー油田は目下ヂャムビー石油會社によりて之を經營することゝなれり。同社は一九一八年の春和蘭に於て五百萬盾の資本を以て設立したるものにして、其大部分は植民地政廳の負擔たり。故に其利益の一大割合は植民地の收得となり、且つ原油は一定の價格を以て之を引受け得べき權能を有せり。

スマトラ油井より得らるゝベンジン油は品質最良にして、其の多量を歐洲に積送す。然れども従前ベンジン油の需要少なりし時代にはスマトラ油は一般に品質輕きが爲めに人氣乏しく、寧ろポルネオ油のベンジン、ケロシン及び滅菌油の産出率高きに若かざるものゝ如くなりき。

錫。は西海岸及びシアクに之を發見すれどもスマトラにては採收を行はず、斯業は主としてバンカ、ピリトン及びシンケブに盛んなり。バンカに於ては二百年來之を採收し、鑛山は政府の所有な

り。一八二〇年政廳に於て斯業を歐洲人の監督下に置くことゝしたる以來、バンカ錫は其の純性に對し高評を維持するに至れり。一八五二年以降、本業は歐洲に於て相當資格を受けたる鑛山技師によりて監督せらるゝことゝなり、且つ近年錫に對しては輸出に先だち化學的試験を行ふが故に、バンカの極印は今や純質の保證となれり。

實際上バンカには錫の鑛脈を有せざるに等しく、之れが採收は殆ど全く河川の沖積沈澱及び丘腹に於ける沖積層を掘開したる露天坑より之を行ふ。諸坑の所在せるは概ね北及東海岸なり。層厚一乃至四粉なるを普通とすれども、處々に數米突の厚度を有するものあり。鑛石は之を洗滌したる上、所屬製煉所に於て簡單なる熔鑛爐によりて精煉するを常とす。目下三箇所の地方に各自中央製煉場を有すれども、結局バンカ全島の産鑛に對し單箇の中央製煉所を設置するの計畫なり。

戰中多大なる數量の錫をバンカより米國へ輸出せるが、先づバタバヤに送りて同地にて積替へたるものなり。戰前バンカ錫は殆ど全部アムスターダム及びロッターダムの兩地に於て隔月之を競賣に附したり。バタバヤに於て競賣に附し、若くは和蘭及蘭印の官用に供給したる數量は甚だ少なかりき。バンカ錫は *Nederlandsche Handelsmaatschappij* に於て蘭印政廳の代理店として之が積送販賣に任じ、更に契約によりて之が輸送はロッターダム・ロイド及び和蘭汽船會社に於て之を引受く。

一九一七年バンカに於ける錫の産額は凡そ二四〇、〇〇〇擔にして、一九一一年より一九一三年に

第五 産 業

至る産額を與ぐれば左の如し。即ち

	一九一一年	一九一二年	一九一三年
鑛 山 數	三六六	三七六	三六二
鑛 夫 の 平 均 數	二一、二九二	二二、二九六	二一、四三六
産 額 (擔)	二五〇、四九六	二四四、七四九	二五五、〇三五
和蘭にて販賣せる米突噸 每擔の原價運賃 (盾)	一五、三五八	一六、三二九	一五、三九〇
及販賣諸係を含む (盾)	三九	四三	四五
每擔の和蘭平均賣價 (盾)	一四二	一五四	一五二
錫 賣 上 純 收 (盾)	三三、九六七、九六六	三九、三八七、六〇六	三六、五六六、六七四
錫 賣 上 純 益 (盾)	二五、九四〇、三九七	三〇、三二三、六〇〇	二五、二一九、〇七四

錫鑛業には支那苦力を使役す。即ち或は團體請負の下に又或は政廳直接監督の下に之を置けり。一九一四年三月の年度末に於ける錫總産額の六・〇六・セントは政廳直轄下に採收せり。此種鑛山には近代式機械を應用したるが故に、經營者をして大に人手を省き而かも優良なる効果を成就するを得せしめたるは言を俟たず。

ピリトンに於ても、パンカと等しく重に露天坑に錫鑛を發見すと雖も、尙且つ豊富なる錫鑛脈の採掘に値するもの尠なしとせず。一九一四年五月ピリトンには四七の鑛山ありて、之れが經營は *Billion Montschappij* と稱ふる會社によりて行はる。作業は之を支那人の團體に請負はしめ歐洲人を以て監督することとし、且つ該請負者は豫約によれる一定の價格を以て採掘に従ふ。昔時バレンバ

ンの諸王は島民を強制して採鑛に従はしめ、鑛石は之を新嘉坡に送りて製煉するを例とせり。ピリトン會社は一八五二年最初の特權を受け、一八九二年に至り更に二五箇年を延長したりしが、特許の約款に據りて純益の八分の五を政廳に納付するの責を負ふものにして、一九一六年政廳收得額は一、〇〇〇、〇〇〇盾と推算せられたり。一九〇七—八年期にピリトンは七三の鑛山より約四、〇〇〇噸を産出し、從業者數平均一一、一二八名を算し、且つ他に少量の土民によりて産出せられたるもありき。一九一〇—一三年ピリトン諸鑛山の産額は左の如し。即ち

	一九一〇年	一九一一年	一九一二年	一九一三年
政廳納入の収益割合(盾)	四、五四一、八〇二	四、一四七、七〇八	四、四五三、一七四	四、六一四、四九五
証	二、二八六、九六一	一、八五八、七七五	一、九三八、〇六二	八一九、一八四

ピリトン錫はバタバヤに於て公競賣によりて之を販賣せるが、戰前多年に互りて最大購買者は巴里に本店を有せる *Mainz & Company* 及びロッターダムの國際貿易會社の兩社なりき。

シンケブにては重に露天坑を以てせるも、丘陵地には水平坑道による處なきにあらず。シンケブ附近には錫鑛の海底に發見さるゝありて、汽力浚渫機を應用して之を採收せり。斯くて掘り揚げたる泥土は船上に於て洗滌を行ひ、鑛石は新嘉坡に陸揚して製煉を行ふ。シンケブ會社は一八八九年リンガ王によりて附與せられたる特許權の下に作業す。一九一〇—一三年シンケブ諸鑛山の産額左の如し。(單位証)

第五 産 業



メダン及び其の南北の兩方に所在し、而かも集約的に施耕したる地積を包容せるスマトラ東岸州及びバレムバンを以て最要植民地とせる南部の地域なり。地方的市場は數日毎に總て重なる市邑及び移住地に於て之を開き、物々交換盛んに行はる。本島奥地の商業は主として土民の河舟によりて之を行ふ。此等は阿仙藥、籐、ゴム、樹脂其他の物産を奥地より海岸に搬下せるなり。小型近海船舶ありて諸港の間に物産を運送し、又K.P.Mの汽船は二週に一回主要なる海岸都邑に寄航せり。

スマトラ西岸州の島内商業上、バダン高地のPajokumbo (Pajakumboとも稱す)を起點としバダン・パンヂヤンに於てオムピリン炭田への支線と連絡せる鐵道は即ち頗る重要な交通機關たり。

珈琲其他の農産物は該鐵道によりて之をバダンに輸送し、毎週パヂョクムボに殷賑なる土民の開市ありて、同地を距る一〇哩のフォート・デ・コックよりは土民群載の列車往復せり。

島内商業は概ね支那人の掌中にあれども、土著種族にして良商賈たるものなきにあらず。石油、煙草、護謨及び茶に係る事業は極めて最近に至りて、スマトラに之が設定を見たる次第なるが、悉く歐洲人の直營なり。

(□) 都邑及市場

Batus は往時タバスリーの海岸に於て籐、安息香及び龍腦等に對する主要なる輸出中心地たりき。然れどシボガの奥地方面に於ける政廳の統治整備し、以てバタク族をして高地方面より安全に物産

をシボガに搬出することを得せしめたる以來、バルース及びシンケルの兩處は共にシボガの代はる處となれり。同地は亦魚類及び輸入米集散の中心たり。

Bengkalis は同名島の港にして、木材及び魚類の取引多大なり。

Benkulen は西海岸に在り。スタムフォード・ラツフルズ卿は居常同地を以て東印度に於ける最も隆盛なる諸都市の一たらしめ得べき信念を有せしかど、要するに其位置の不健康地點たる且つ舊港の積泥甚だしきが爲め遂にラ卿の豫望を果たすを得ざりき。ベンクレーン一帯の地方には米、煙草、胡椒、阿仙藥及び籐を産す。人口凡そ八、〇〇〇、一九〇五年一六三人の歐洲人と八〇二名の支那人ありき。

Fort de Koek はバダン高地の首都なり。軍人外の人口は二、五〇〇以内なるべく、元來當市は海拔凡そ三、〇〇〇呎の高度に位するが故にバダン在住歐洲人の爲めには主要療養地とせらる。土民の行商ありて珠玉細工、土産の寶玉又は武器、乃至土産の花緞其他の織物類を鬻げり。數多寫眞店を加へ、諸般の店舗は殆ど悉く支那人の營む處たり。當地には毎週市場を開けども、規模全くパヂョクムボのものに劣れり。

Kuta Baru はタバスリーに所在し、十七世紀の頃には印度人の勢力下にありて一大都市をなし、安息香及び龍腦の市場としてバダンの次位にありしも、十八世紀に於けるアチン族の占領によりて

其商業絶滅するに至れり。

Kuta Rajah は當今人口少なければども、胡椒栽培は猶ほ重要にして、時至らば往時アチエーの年々一八、〇〇〇噸の胡椒即ち世界消費の三分の二に當れる大量を輸出したる時代の如き殷盛を見るに至らんも知るべからず。同地の港はオレー・レー(人口一、〇〇〇以内)なるが、兩地の間汽力軌道車ありて連結せり。

Medan はデリー河畔、バブラ河との會流點に所在す。距今五十年前、同地は未だ全く深叢の繞らす處たりき。今日の同市は外觀正に近代式都市なれども、中に一大支那街を包有せり。ペラワン・デリー港(凡そ四〇哩を距つ)とは鐵道により連結せらる。

Natal はタバヌリーに於けるナタル河畔の一小港なり。漁業其主たる地方的産業の一にして、當地には官有の貯鹽倉庫あり。新嘉坡とは土產物産の直接取引行はる。

Padang は西海岸に在り。中部地方の產出に係る珈琲、護謨、煙草、コブラ、ガム(樹脂)、獸皮、及び木材等の大貨は概ね此地を通過す。

Padang Sidempuan はタバヌリー州の首府にして、活氣ある商業中心地たり。當市の港はシボガなるが、良道によりて連接せり。

Pajakumbo(Pajakumbo) はフォート・デ・コックの奥一〇哩を距てたる鐵道終點にして、繁茂せる

珈琲農園によりて圍繞せらる。人口二、〇〇〇を出でず。同地は週催土民市場あるが爲めに其名高く、該市場の鳥類部には食用、採毛、嗜啼又は競闘目的の鳥類を集め、獸肉部には數多水牛の全屍を懸束し需要に應じて之を切賣せり。又一大區劃を舶來製品部として、此處には著色書、卓覆、及び毛布類乃至安價なる和蘭陶器等を販賣す。蠟燭及び古石油罐を以て土民の製作せる鍍力細工、土產の寶玉細工其他各種の土著織物、即ち多少技術的價値を有せる金絲花緞の類を合せ、多量に之を陳列せり。同地方はスマトラの土民中最も開化し、熟練と勤勉とを以て米作に従へるメナンカバウ馬來族の住居する處たり。

Palembang はムシー河畔、其河幅一、〇〇〇以上に達する地點に所在し、家屋は大なる筏の上に建ち、之れに住居せる支那人及び亞刺比亞人の商品仕入に赴ける場合は此筏と共に輿地に入るを常とす。

Rengat はスマトラ本土に諸大領地を有したるリオウ王國古昔の首府なれども、今は殆んど活氣なくして死市に等し。人口僅に數百を出でざれども、小汽船ありて新嘉坡との間の航海に従ふ。然れどもクワンタン河には一大三角洲ありて多大の障礙を被れるを以て、隨時浚渫によりて航路の改修を行ふことせり。

Siboga(Siboga) はタバヌリー灣内に在りて、タバヌリーの主要港たり。同地はタバヌリー輿地の

農林兩業の産物に對する主たる出路たると共に、土民の主要市場なり。魚類の島内取引盛大に、且つ米、サーゴ、生牛及び土産織物の賣買亦行はる。小賣商人及び苦力の多くはバタク族なり。

珈琲其他農産物の栽培には好適地なるも、シボガは不健康地たるによりて其名高く、且つ其奥地亦多産ならずと謂ふも、斯は蓋し森林地帯の未だ開墾せられざるに主因せり。商業は概ね物々交換によれり。

Shinkai はシムバン河の三角洲内に在りて、アチン人時代には重要なる市街なりしが、和蘭の占領(一八四〇年)後衰微せり。當處は山地の土民に對する主要交易地たり。

Talok Petang はラムボン地方の首都にして、海水深き一灣頭に所在す。商業は概ね支那人の手中にありて、珈琲、胡椒及び藤其の主要輸出品なり。

(ハ) 貿易通商改善の機關

一九一一年に至りては貿易及び産業に對する管掌は一九〇五年創設の農務省に於て之を行ふこととなり、爾來農商工務省と稱するに至れり。

バダンは五十年以前の設置に係れる商業會議所あり。同會議所は政廳の諮問に應せん爲め任命せられたる五名の議員を有せる公設機關なり。メダンには公設の商業會議所を有せざれども、メダシ、バダン兩地共に存立甚だ古き活動的商業組合ありて、地方的統計の編纂、商業上の支障排除に

對する政廳への訴願其他の實務を遂行し來れり。

二 對 外

外領地貿易に於けるスマトラの持分は優勢なり。近來の平均を以て觀るに、本島の輸入貿易價額は外領總輸入額の約七〇・八%、又其輸出額は外領輸出總額の六四・四%なり。スマトラ東岸州の外國貿易は即ちスマトラ貿易全體の主成分たり。一九一五年及び一九一六年中同地方の取扱ひ額は外領輸入貿易の凡そ三六・八%又輸出の約三二・七%なりき。

スマトラの貿易統計は不備且つ撞著的なるを免かれず。之を得るに最も容易なるは外領地全體に對するものたるを常とし、偶々スマトラの爲めに別に輸出入貿易統計の編成を觀るも、そは概ね單にスマトラ東岸州に關するものにして而かもサブバン港の分を加へ若くは之を省けること多し。

一九一六年スマトラの輸出入價格は左の如し。(單位盾)

	輸 入	輸 出
スマトラ東岸州	四二、六〇〇、〇〇〇	一一六、三〇〇、〇〇〇
餘のスマトラ(リオウ、パシカ及びビリトンを含む)	三二、三〇〇、〇〇〇	九五、五〇〇、〇〇〇
合 計	七四、九〇〇、〇〇〇	二二一、八〇〇、〇〇〇

主要輸出 一九一〇年より一九一二年に至る期間スマトラ東岸州より輸出したる主要物品の數量



左の如し(但し價額に對する計數は之を得るに由なし)。

品名	一九一〇年	一九一一年	一九一二年
安息香	三三,五八三,二二四	三五,三七七,四〇〇	三八,二四九,五一一
胡椒	四七,五〇〇,一九二	五四,六〇四,八〇〇	四五,二二一,七一四
胡椒	二,二五〇	一,三五三	一,六七三
胡椒	一,五二二	一,〇七一	一,七三三
胡椒	一,一三三	一,一二〇	五二七
胡椒	三,七九七	四,二六四	四,〇四三
胡椒	六,〇九〇	五,二六四	二,八七八
胡椒	一,九三一	一,九八一	二,五六〇
胡椒	五三	四三	四六
胡椒	二,一五五	一,五二一	三,三〇〇
胡椒	二,三四九	四,五四二	一,八〇七
胡椒	五三九	八一三	九三三
胡椒	五二一	三九八	二八二,九二〇
胡椒	二三四,一三三	二八〇,七〇四	三四二
胡椒	八〇九	七二三	
馬	一九一〇年	一九一一年	一九一二年
馬	二〇〇,六〇五	二〇二,八三四	二二五,〇七三

主要輸入(1)東岸州 一九一〇年より一九一二年に至る三箇年スマトラ東岸州輸入の主要品目左の如し。(但し價額の計數を得たるものは數品あるのみ)。

品名	一九一〇年	一九一一年	一九一二年
藥	一九,九四六	二三,九五〇	二六,二五五
小同類	二一,一〇八	一八,一六六	一八,七六六
鐵鋼製	一一〇,〇七二	八三,六二六	一〇二,五四六
機・機具	六八,〇五七	九四,一五七	一〇〇,二五一
肥料	二五,一七六	二五,一二三	四〇,七二二
石鹼	一二,七六〇	一六,二八八	一八,八一六
硫酸	一八,九六八	一九,七八八	一,六四二
鐵板	一〇六,五九八	一一三,九八〇	七八,二三九
鐵力	二四,二〇七	三〇,一五六	三六,九六八
數量による	一九一〇年	一九一一年	一九一二年
麥酒	一三六,三七三	一五二,一九五	二一一,八七七
自轉車	二二二	二四〇	六四七
ビスケット	二二七,二七八	一五五,八四四	二二一,九七九
洋灰	四九,九六二	五四,七九九	六八,三一四
小麥粉	一八,二四七	二七,三六四	三〇,七四九
燐寸(歐洲製)	二,九五三	三,四八六	三,八二四
燐寸(日本製)	一七,六二二	四,八五七	一
同(日本製)	一四三,一七六	九六,三二六	一一一,七七九
自動車	一三	一三	一八
米	七一,一九六	八一,〇五二	八九,四七五
茶	一,一〇七	一,五九二	一,五五七
第六商 業	五〇四,五四五	六〇四,四二七	六一七,三八九

(口) サバ<sup>○</sup>ン 當港へ輸入の大部分はスマトラ東岸州に向つて積換となれども、同東岸州の統計報告には之を掲載せず。

一九二〇—二二年に對するサバ<sup>○</sup>ンへの主要輸入品左の如し。(單位磅)

品名	一九二〇年	一九二一年	一九二二年
綿製品	一九一〇年	一九一一年	一九二二年
價額による	六七,九二一	九三,一一九	九七,三六三
數量による	六,九七九	八,七四八	一四,三八六
小間物類	一三,一三七	一三,四八七	一五,四五七
鐵・鋼製品	五二,三四三	八八,四四五	一四三,三九五
機械・機具	二二,二五二	七八,七三四	一二七,二七八
肥料	六三,四九五	六一,九二〇	五九,七〇〇
石鹼	二,四八二	二,二一一	二,六八二
硫酸	二,〇九六	一,三九九	一八,七九六
綿	一九一〇年	一九一一年	一九二二年
數量による	九三,六〇〇	一〇五,四〇〇	一〇四,九三二
麥	一,一六四	一,二八二	二,八一二
自轉車	一四七,五八二	一六一,〇八八	二四〇,八九〇
ビスケット	二六一,三四三	二五八,一八一	三四一,六八二
罐入バター	三〇,五六六	二一,一〇六	三〇,六六八
灰			
樽			

品名	噸	價額	噸	價額
小麥粉	一四一	三一六,六一〇	四一	二八三,六五四
燐寸 (日本製)	一七,五〇三	二六	六一	六
自動車	六三	一,六四六	一	一,三九一
米	七,二四三	一,三二六	一	一九九六
裁縫機	一,〇一〇	五三六		
茶	六,二九四			
綿製品輸入	一九一三年スマトラへの各種綿製品輸入の價額は左の如し。(單位磅)			
マラヤン・テリー	二二一,〇〇〇			
バダ	三九〇,六〇〇			
バレンムバン	一七三,六〇〇			
他諸港	一六一,九六一			

外領地に於ける歐洲産綿絲の消費は一九〇四年以來殆ど四倍の増進を見たり。一九一三年海峽植民地彼南への綿製品輸入總額の三九%其價額七六五,〇〇〇磅は主としてスマトラへ向つて再輸出せられ、且つ稍之れより低きも而かも可なりの數量亦新嘉坡よりスマトラへ再輸出せられたり。スマトラ及び蘭領東印度全股に互れる土民の手機織布業の爲めに多大の數量を以て綿絲の輸入あり。戦前、生綿絲は重に印度及び英國より、晒綿絲は英國より、又色絲即ち主として赤色のものは孟買、伊太利、英國、獨逸及び和蘭より來れり。

### 第七 財 政

#### 一 領土財政

蘭領東印度全體の財政に就ては本叢書第三〇卷「爪哇及マドウラ」に於て之を詳述せり。

#### 二 通 貨

爪哇に於けると均しく全外領にても亦和蘭の通貨のみを以て適法とす。然れども若干の州に於ては今猶物々交換大に行はる。

#### 三 銀 行

爪哇銀行はメダン、バダン、バレムバン、アサハン、タンヂヨン・ブーラ、タンヂヨン・バレイ、及びベンカリス等に支店を有す。Nederlandsche Handelmaatschappij はメダン、バダン、バレムバン、及びクタ・ラヂヤに支店を設けたり。此の外チャタード銀行はメダン及びバダンに、又Nederlandsch-Indische Handelsbank はメダンに、同Escompto-Maatschappij はバダンに、Mercantile Bank of India

はバダンに各支店を置けり。

數多金融銀行の設備ありて、土民之が爲めに多大の便益を受く、蓋し支那人の仲介者に倚頼の不利を免かるゝが故なり。

#### 四 外資の勢力

近來漸く和蘭は其産業に對し外資輸入歓迎の傾向を示せり、但し蘭領東印度政廳に於ては總て其領土の支配權を保留するを以て絶対條件とす。

大戰勃發の當時爪哇と等しくスマトラに於ては獨逸人の數英國人に優りて多かりき。Guntzel & Schumacher (一九〇五年創立)會社の如き、一九一四年以後こそ其取引殆んど休止の状態に陥るを免がれざりしと雖も、元來スマトラに於ける根底甚だ強固なり。戰前同社は北獨逸ロイド及び漢堡亞米利加兩汽船會社の外、加奈院太平洋鐵道會社、獨逸加里シンヂケート、ランカット石油工場其他數多英、蘭、獨保險會社の代理店を兼營したり。

スマトラに於て英國の資本は殆んど全く煙草、護謨及び茶に投せられ、デリーの北方ランカットには多數の英人居住者ありて、主たる英人の事業は United Langkat Plantations Company なり。一九一一年スマトラ東岸州産出煙草の一割は英國諸會社の生産せる處にして、且つ同全産の三割以上

は英國の船舶に積載せり。護謨は英國資本に向つて更に一層の重要場裏なり。一九〇九年の護謨事業熱大勃興に先立ちスマトラには既に幾多英國護謨會社設置せられ居たり、即ち九〇、〇〇〇磅の資本金を以て一九〇七年創立の Anglo-Sumatra Rubber Company 資本金二四〇、〇〇〇磅にて一九〇七年設立の Sumatra-Deli Rubber Estates 及び既記 United I angkat Plantations Company 等はれなり。同末記の會社は當初の目的は護謨にあらざりして、煙草栽培の爲め一八八九年四五〇、〇〇〇磅の資本金を以て設立せられたるなり。Asahan Rubber Estates は資本二五〇、〇〇〇磅にて一九一〇年の創立、Insulinde (Sumatra) Rubber and Tobacco Estates は資本一〇〇、〇〇〇磅にて同く一九一〇年の設立、Mendaris Rubber and Produce Estates は資本三〇〇、〇〇〇磅にて一九一一年の創設なり。此等の諸會社及び其他同種のもの皆成績良好にして、大戰の直前英國諸會社の所有に係れる「ヘヅ井ア」護謨の栽培面積はスマトラに於ける同總植村面積の約一半即ち三六、〇〇〇畝町に互りたり。一九一三年末スマトラ東岸州に於て英國會社の投資額は約六、〇〇〇、〇〇〇磅に當れり。茶も亦英國の關與せる事業にして、一九一三年末にはスマトラ東岸州に凡そ六、〇〇〇畝町的茶園を有したりしが、此内五〇〇畝町を除き爾餘悉く英國の投資によりて著手せるものなり。

既載の如く、英國機械會社即ち United Engineers, Limited 社はメダンに於て護謨其他の工場用機械の製造と修理を目的としたる完備の工場を建設せり。又濠洲系の一會社は和蘭の會社を経てベン

クトレン州に於て、同名港を距る七〇哩の地點に炭業地を有せり。

一九一四年末スマトラに於ける煙草、護謨及び茶に投入せられたる資本の主たる出所に關する公報は左の如し。(單位千盾)

和 蘭	煙 草	護 謨、茶	合 計
四四、四〇一	四六、〇〇〇	九〇、四〇一	
九、四三二	五、〇〇〇	五、〇〇〇	
一	六〇、〇〇〇	六九、四三二	
一	三、〇〇〇	三、〇〇〇	
一	二、〇〇〇	二、〇〇〇	
一	一、八〇〇	一、八〇〇	
六〇〇	一	六〇〇	

### 第八 概 說

以上敘する處を以て、スマトラの植物及び礦物的資源に豊富なること明かなるべし。本島隆昌の主たる障礙は労働の缺乏にあり。人口頗る稀薄にして數世紀の昔以來毫も繁殖の迹を見ざるは、思ふに之れ全く其間戦争相繼ぎ殺戮の絶ゆる處なかりしに因るものならん。本島の大なる正に爪哇の三倍に當れども、人口僅に其六分の一に達せず。近時土民漸く黽勉の道に倣ひ、其通有たる新規業務を厭ふの性癖は次第に之を離脱するに至り、然かも幾多種族の中には近く習ひ得たる工藝に其堪

能なるを證示する者多し。土村概ね自産自給の状態にあるを以て勤業功名の氣象に乏し。然れども文化的奢侈品に對する欲求漸次其度を昂むると共に、一面却つて精勵心の刺戟たるなしとせず。

全島に互りて交通の便伸びるに至らば、本島の隆運亦速かに加はらん。スマトラ奥地の大半は尙は之を開拓せざるべからず、故に之れが爲めにはアチンに於ける軍用鐵道を利用し得ん、蓋し今やアチン人の征服略ぼ定まりたればなり。

近頃最も多くスマトラの隆昌に貢献したるものは煙草及び護謨の二物産なり。煙草の價格は戰時中甚だ昂騰し、一九一六年スマトラに於ける同品の農作は、從來に於ける最高賣上價額たる約四、〇〇〇、〇〇〇磅を突破し五、〇〇〇、〇〇〇磅以上に達したり。同一九一六年一月三日より十二月三十日まで期間中、Deli Maatschappij社の株式四六七盾より五〇六盾に昂り、Deli-Batavia Maatschappij社は三四二盾より四一一盾に、又 Arendshurg Maatschappij社は五〇九盾より六〇七盾に騰りたり。然れども和蘭の當局及び同植民地當事者一般の虞るゝ處は、戰後歐洲の疲弊甚だしくして以前の如く煙草を消費し能はざるべしと云ふにありき。

然りと雖も護謨に對する需要は今後恐らく減退することなかるべし、蓋し合成護謨にして若し天然産を凌駕するに至れる場合は其限りに非らずとすべきも、之れが實現は困難ならん。スマトラの降雨豊かなると、又其常時高温なるとの二條件は、本島をして特に護謨栽植上好適地たらしむ。同

島の爪哇に優りて確定的に有利なりとせるは護謨の爲めに利用し得べき土地の爪哇に比べて遙かに廣大なる一點なり。斯くて爪哇は其面積頗る狭小なるのみならず、人口遙かに多大にして、而かも況や爪哇に於ける可耕地域の大部分は米田其他の食用作物に對する利用上、之を保留せざるべからざるに於てをや。

蘭領東印度は現今世界の護謨供給額中凡そ其四分の一を産出すと推算せらる。一九一二年より一九一六年に至れる期間中護謨の世界産額は増進五倍せりと雖も消費力亦之に伴ひ、然かも一九一六年一蘭人の推算に従へば護謨の生産價格は未だ僅に市價の約三分の一に過ぎずと謂へり。一九一七年のスマトラ産品は主として米國に向ひたり。是れ則ち同國に於ては重に自動車事業の大發展に因りて護謨の需要無比の激増を見たるが爲なり。一九一四年外領に於ける護謨園二六六箇所の内、スマトラに在るは二一三を下らざるを以て、本事業に伴ひたる増進的隆昌の一大割合は同島に歸すべきものとなすも敢て不可なかるべし。

### 西。海岸。諸。島。

Simalu (Simelulu) は縦横五四哩の一四哩、丘陵多く最高地點一、八七〇呎にして、森林全島を蔽へり。暗礁之を圍繞し、且つ河川皆短くして陸地への近接不便なり。石炭を産すれども、作業に著手せず。沿海地は耕作せらる。

Pauijak Islands 全數六六島中最大なるは大バンヂヤクなり。猶未だ探險せられずして、住民悉く野蠻人より成る。ココナツト椰子其主たる農産物なり。同諸島には怪物棲息すとの噂高し。

Nias は凡そ二、七九六平方哩の面積を有し、スマトラ西海岸の最大島なれども、殆ど全く未開なり。人口は二五〇、〇〇〇を下らず。震災頻繁にして猛烈なれども、氣候良好、南及び東南海岸にはココナツト椰子豊かなり。劣等石炭、及び鐵、銅並に金の存在報せらる。本島の上陸は危険なり。土民はココナツトと共に米、玉蜀黍及びサーゴ等を栽培す。既往頻發せる内亂兵火の爲めに總て其貴重なる舊古の森林を滅失し、新生育の樹林は殆んど無價値なり。

ニアス族はバタク人に類似點多し。本種族は數世紀に互りて歐洲人の虐待する處となり、且つセレベス島ミナハサ人と共に蘭印諸島中美貌なりとの評判を分てる婦女は從來常に奴隸として追求利用せられたり。土民は元來聰明にして、産類其他原料の編織、染色及び彩色、又は銅細工等に於て工藝的能力を示せり。奥地に於ける酋長等の葬儀には今猶人身御供を伴ふ。今日と雖も或る程度まで首狩行はる。スマトラ本土に移住したるニアス人は有爲の労働者及び工匠たるを證せり。

Batu Islands には海岸に住民を有する三箇の大島と四八の小島と在り。ココナツト椰子に富む。諸島皆丘陵多し。就中二、三の島は優良なる木材を有すれども、土民は之れが利用に必要な作業に従ふを欲せず。

Menawai Islands は總數凡そ七〇なるが、震災多し。Siberut 島最大にして延長凡そ五七哩なり。諸島は殆ど未だ人跡到らず、殊に其西部に於て然り。土民はココナツト、サーゴ椰子の樹心及び魚類によりて生活せり。

Engano (Engano) 本島嶼は一箇の大島と六箇の小島より成り、總計の面積約二七六方哩を有す。最大なるエンガノ島は最高地點一、一八〇呎に達し、諸島皆木材に豊なり。樹木鬱蒼として海に接せり。スマトラ西海岸沖諸他の島嶼に於けると齊しく現にコブラの生産を以て其主たる産業とせり。住民僅かに數百を以て數ふるに過ぎずして、其數過去五十餘年の間に頗る減少せり。

Banka は四、四四六方哩の面積を有し、濃密なる熱帯植物之を蔽へども、大木を以て成りたる貴重森林は鑛業及び農業上の作業關係によりて其大部分を失ひ現在の生育は商業上重要ならず。本島の最大長程凡そ一〇〇哩なり。Kulubai Bay は北部にありて、陸地に灣入すること一九哩なるが最良錨地たり。島内最高地點は二、三〇〇呎に過ぎず、且つ河川皆流水少くして、偶々錫鑛山の用水缺乏を來すことあり。

パンカには多數の支那人あり。此等は錫鑛山の作業に従事し、又胡椒を栽培して益々之を盛んならしむ。同島の土民は貧困甚だ悲惨なるものあり。一般に支那人及び外國人を恨れ、ココナツト椰子、檳榔樹、甘薯、蕉實等を栽培して、半野蠻状態の下に生活す。獵漁の行はるゝこと少なし。

土民は主としてスマトラ系統の馬來人より成り、其數一〇〇、〇〇〇に満たず、一九一二年本島の總人口は凡一一四、〇〇〇なり。Muntok 其主都なるが、一九〇五年、一五五の歐洲人及び一、〇五一名の支那人を加へ、四、六九九人の人口を有したり。バンカの氣候は著しく不順なり。平原の日蔭に於ては溫度華氏一〇〇度(攝氏三八度)に達すれども、山間に於ては夜中華氏三九乃至四一度(攝氏四乃至五度)に降下することあり。本島は不健康地として名高し。

Billiton (Bitung) は一、八六〇方哩の面積を有す。一九〇五年本島の人口は支那人二、五二〇、歐洲人一三六及び亞刺比亞人一六名を含み、三六、八六〇を算せり。現今の人口凡そ六〇、〇〇〇に達すべし。主都 Tanjung Pandang は島の西部短河 Tjantung の河口に所在し、一九〇五年六、一三五の支那人及び八八の歐洲人を加算し、二三、〇〇〇以上の人口ありき。ピリトンの最高丘は海拔一、六七三呎に過ぎず。海岸概して平低單調にして沼澤多し。河流悉く短かし。バンカと等しく土民は鑛山の作業に従はず。蔗を織り、白鐵細工を製し、又少量のコブラ、籐、護謨、樹脂、指物用材及び龜甲を輸出せり。ピリトンは季節風の直接影響を受け、随つて氣候頗る濕氣多し。一三五の小鄰接島を有す。

Riouw-Lingga 群島は Karimun, Bantam, Bimbang, Lingger 及び Singkep 叢島より成れり。諸島皆馬來半島の花崗岩質延長の部分を形成し、波狀の丘陵を以て蔽はる。最高點はリンガの山頂なる

が、海拔四、四〇〇呎に達す。諸島中最大なるピントン島に在る Riouw (又は Rio) は自由港なるが、新嘉坡と競争せん爲め一八二八年九月之を建設せるも、和蘭の緩慢なる計畫は悲惨にも失敗に終り。實際上の港にして、州廳の所在地にして又ピントン島の首都たるは Tanjung Pinang と稱し、一九〇五年二、四〇八の支那人と一二八の歐洲人とを加へ、四、〇八八の人口を有したり。同地は新嘉坡を距る東寄の東南方四七哩なり。

諸島の河川は利便上悉く無價値なり。同群島の氣候は其潤雨と環海とによりて緩和せらる。チーク、脂質樹、椰子類及び甘蔗等豊かに成育す。スマトラ本土に比し土壤乾なるが故に甘蔗の發育は此地を以て良好なりと謂へり、群島の總人口は凡そ二〇〇、〇〇〇なり。新嘉坡より南・南・東七哩なる Pulau Sumbu には Patasche Petroleum 會社所屬たる五箇の埠頭を有し、干潮時の最低水深一二呎より三〇呎の各種に分たる。

リオウ州には亦行政の關係上、ボルネオの西北岸沖に在るアナムパス、タムベラン及びナトゥナ叢島等の非重要なる諸島を含めり。現今此等は可なりコブラを産出し、一九一八年には Insulinde Oliefabrieken (製油工場) はコブラの供給に對し土民と契約を結び又日本の南洋貿易會社はコブラ積取の爲めアナムバ叢島内タレムバ及及他の諸港へ向け毎月四、〇〇〇噸型の一汽船を就航せしむべき計畫ありき。

## 附 録

スマトラ島に於ける大不列顛國竝に和蘭國相互關係の解決に對し

一八七一年十一月二日該兩國間に締結せる協約

第一條 不列顛國女皇陛下は其何れの地點たるを問はずスマトラ島に於ける和蘭國の版圖擴張に對する一切の抗議を撤止す、從つて一八二四年三月十七日附條約の締結に際し和蘭竝に英國全權委員によりて交換せられたる覺書中に包含せる當該關係の保留條件亦之を撤止す

第二條 シネ State スマタラ スマタラ スマタラ 王國及び其屬領に於ける英國臣民の貿易及び英國の航海は、一八五八年二月一日蘭領印度政廳によりて該王國に對し締結せる盟約中に釋明したる如く同王國內に於て和蘭國臣民及び和蘭國の航海に對して付與し又は付與せんとする一切の權利及利益の享受を持續し得べき事、又更に之れと同様の特權は、英國臣民にして和蘭政府の法律及び規定を遵守する限り何處たりともスマトラ島内他土民州に於ける英國臣民の貿易及び英國の航海に對して之を付與せん事を和蘭國王陛下茲に聲明す。

第三條 前條の約款は、蘭領印度の法律及び規定を以て西洋及び東洋兩人種各人の間に設定したる區別に對し、又は一八五一年三月二十七日附協約條項の適用に對して抵觸することなし。



●参考書目

歴史關係の書目は南洋叢書第三十卷爪哇及マドウラに載録せり。  
經 濟

- British Diplomatic and Consular Reports, Annual Series:  
No. 5083. Netherlands East Indies, Trade, &c, 1912.  
No. 5325. Netherlands East Indies, Trade, &c, 1913.  
Cotton Goods in the Dutch East Indies, (United States Department of Commerce, Special Agents' Series, No. 120.)  
Encyclopaedie van Nederlandsch-Indie. (1st ed., edited by P. A. Van der Lith.) 4 vols. The Hague, Leiden. (1895-1905.)  
(2nd ed., edited by J. Paulus.) The Hague, Leiden, 1917, &c.  
Handboek voor Cultuur en Handelsondernemingen in Nederlandsch-Indie. Amsterdam, 1917.  
In-een Uivoer, Handels-Economisch Weekblad voor Nederland en Kolonien. The Hague, 1876, &c.  
Jaarboek van Nederlandsch-Indie. Batavia, 1916.  
Regeerings Almanak voor Nederlandsch-Indie. Batavia, 1916.  
Brown, J. M. The Dutch East. London, 1914.  
Calaton, A. Les Indes neerlandaises. Paris, 1910. (Translated as Java, Sumatra, and the other Islands of the Dutch East Indies. London, 1911.)  
Walcott, A. S. Java and her Neighbours. New York and London, 1914.  
Wright, A. Twentieth Century Impressions of Netherlands India. London, 1903.

# 追補統計

(臺灣總督府「内外情報」所載)

## ● 卷 終

本報編輯部謹啟

一九二〇年蘭印外領人口現在

(蘭印總督府發表)

州名	歐洲人		土人		東洋外國人		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
スマトラ西岸	二,二八七	一,八六〇	七,四〇五	七,二〇四	七,三二五	五,五六九	七,五三〇	七,〇六三
タバタ	四六一	三〇一	四,二六五	四,一五〇	一,〇〇一	一,三〇八	四,三六六	四,九七八
マンタール	三九六	二六四	一〇,七三二	一〇,三〇六	一,八六一	九七九	一三,九〇九	一三,五五二
ラムボン地方	三八〇	三〇〇	二六,四九八	二二,一〇〇	二,四七九	一,三二六	二九,九七七	二四,五〇六
パレムバン	一,〇六二	六四九	四〇,五四九	四〇,八〇四	一〇,一九六	五,七四五	五〇,八四五	四二,〇〇〇
ザヤムビ	一六七	七九	二,四六五	二,七九〇	三〇八九	一,〇三四	二,四九四	二,八〇三
スマトラ東岸	四,八九〇	二,九二二	五,五四四	四,七五〇	二,四七六	一,四六四	六,七四四	五,〇〇〇
アチエ州	一,五九四	九四四	三六,〇三五	三〇,四〇九	一,一三六	四〇三	三八,〇九八	三三,三七六
リカ	三三三	一六八	九,四三三	一〇,一八三	一,七八三	五三三	一〇,五五九	一〇,五五九
パノン	三〇七	三三	四,二五三	四,二五三	四,八五二	一九二八	六,七九九	六,九七一
ビリト	二六二	一四三	一,九六八	一,四九〇	二,五七五	三,二五五	四,一五〇	三,八八三
ホルネオ西岸	五二六	三三三	二,七四九	二,六〇七	四,〇〇四	二,九〇五	五,〇〇九	四,九三〇
ホルネオ東岸	一,六六六	一,〇六九	四,九〇五	五,〇三三	一,三五八	六〇〇九	一〇,九二〇	一〇,〇九〇
メナ	一,一七二	一,〇七八	三,七四〇	三,六五〇	六,九九五	五,四六二	八,四四七	七,〇六三
セレベス	二,二五二	一,六六七	二,七八〇	二,五〇八	九,六四四	五,〇六〇	一三,〇〇四	一二,五七〇
アムボイナ	一,一六四	一,三七一	一三,四四七	一三,七三三	二,二七五	一,二七七	一五,七二二	一四,〇〇〇

追補統計







追補統計

産地	一九一七年	一九一八年	一九一九年	一九二〇年
パレンバン	一四八五	一	一	一
バンクレーン	三	二	一	一
メナド	三三	一	一	一
タナタ	一〇六八	二九	一	一
アムボイナ	二〇一	二二六	一	一
外領合計	一六四四	二二六	一	一
爪哇合計	六八九四	二四	五二八〇	四七〇
合計	二七〇八	二五〇	五八〇〇	五二七〇

註。(1)数量の中には六、九三二擔の皮ぐるみ珈琲あり。  
註。爪哇マドゥラ、外領中報告をなせる圖の數は合計二七四なり。

●一九一七—二〇年蘭領東印度鑛油產出額

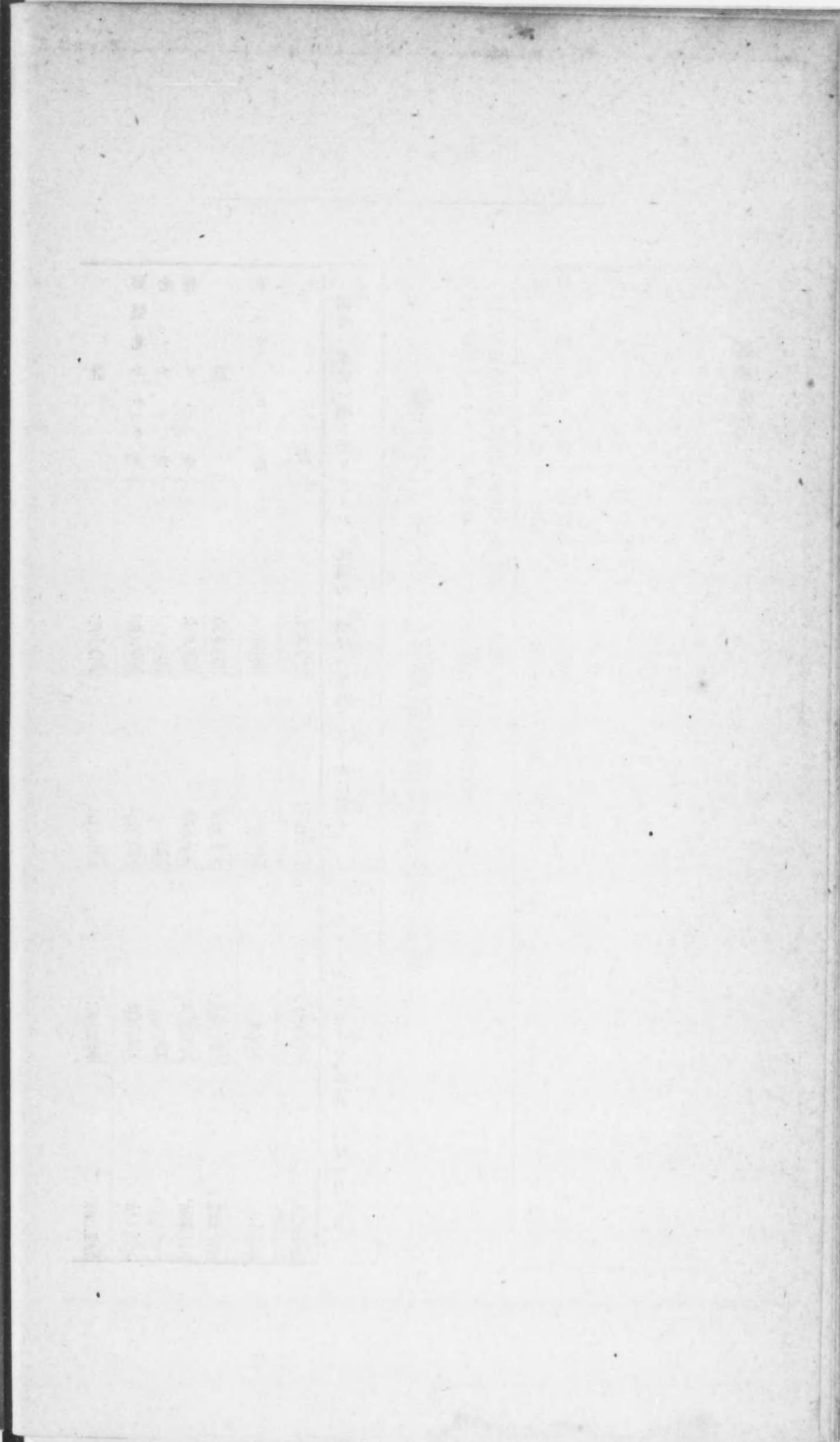
産地	一九一七年	一九一八年	一九一九年	一九二〇年
北スマタラ	一七五、八三九	一九四、二二三	一七六、四五八	一九四、四〇〇
北パレンバン	八二、九七七	一一一、五六一	一四八、一九五	一三八、三二五
南パレンバン	三三三、三一一	三〇四、三二五	一九七、〇〇三	二〇三、七七七
計	四八二、一三七	五一九、九八九	五二七、五六一	五三六、四〇二
スマラ州	一六七、九〇〇	一一四、四六六	一一七、二〇〇	三三、八一八
レムバ州	一八〇、八七七	一七二、七九九	一九四、三三九	二五九、三七一
スマラ州	五五、一〇四	五五、九三二	五九、九六六	五九、三三〇
マドゥラ州	九	三五	一〇	三五

産地	一九一七年	一九一八年	一九一九年	一九二〇年
蘭領北ボルネオ	二五、八八五	二四、二二三	二五、六五五	三五、三四七
北ケケテ	二五、九九九	三三、六九三	三〇、三一一	七一、一〇八
南ケケテ	三三	一〇〇	六	—
計	六六、九一一	六六、五七三	六六、〇七二	七四、二一五
セラム島	二、一五六	三、五八四	三、七一一	三、一七二
合計	一、七〇、五六一〇	一、七七、一〇一	一、七九、六八三	一、八六、五三〇

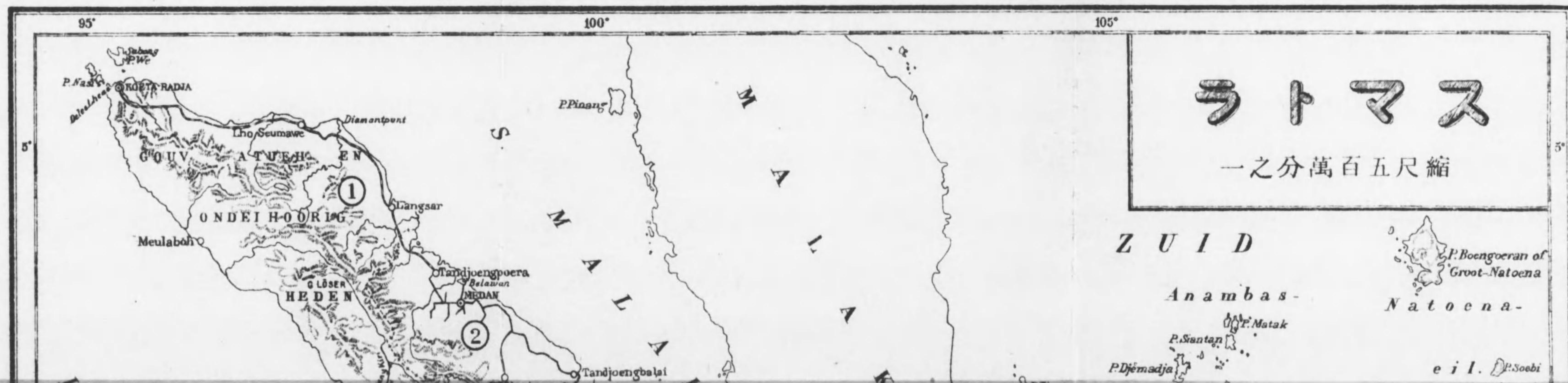
備考 單位一噸=千リットル 米國の一噸は一五九リットルに當る。

(コムマース・リポーツ、一九二二年一月二日)

追補統計









- ① アチー
- ② 東岸州
- ③ タバヌリー
- ④ 西岸州
- ⑤ リオウ
- ⑥ チャムビー
- ⑦ パレムバン
- ⑧ ベンクーレン
- ⑨ ラムポン地方

南 洋 書 4677

不 許 複 製

大正十二年十一月一日印刷  
大正十二年十一月三日發行

以印刷代筆寫

譯 者 遠 山 靜 二

臺北市榮町三丁目九番地

發 行 者 伊 藤 憐 之 助

臺北市表町二丁目二番地

印 刷 人 山 科 榮

臺北市表町二丁目二番地

印 刷 所 臺南新報支局印刷部

臺灣總督府內

發 行 所

南洋協會臺灣支部

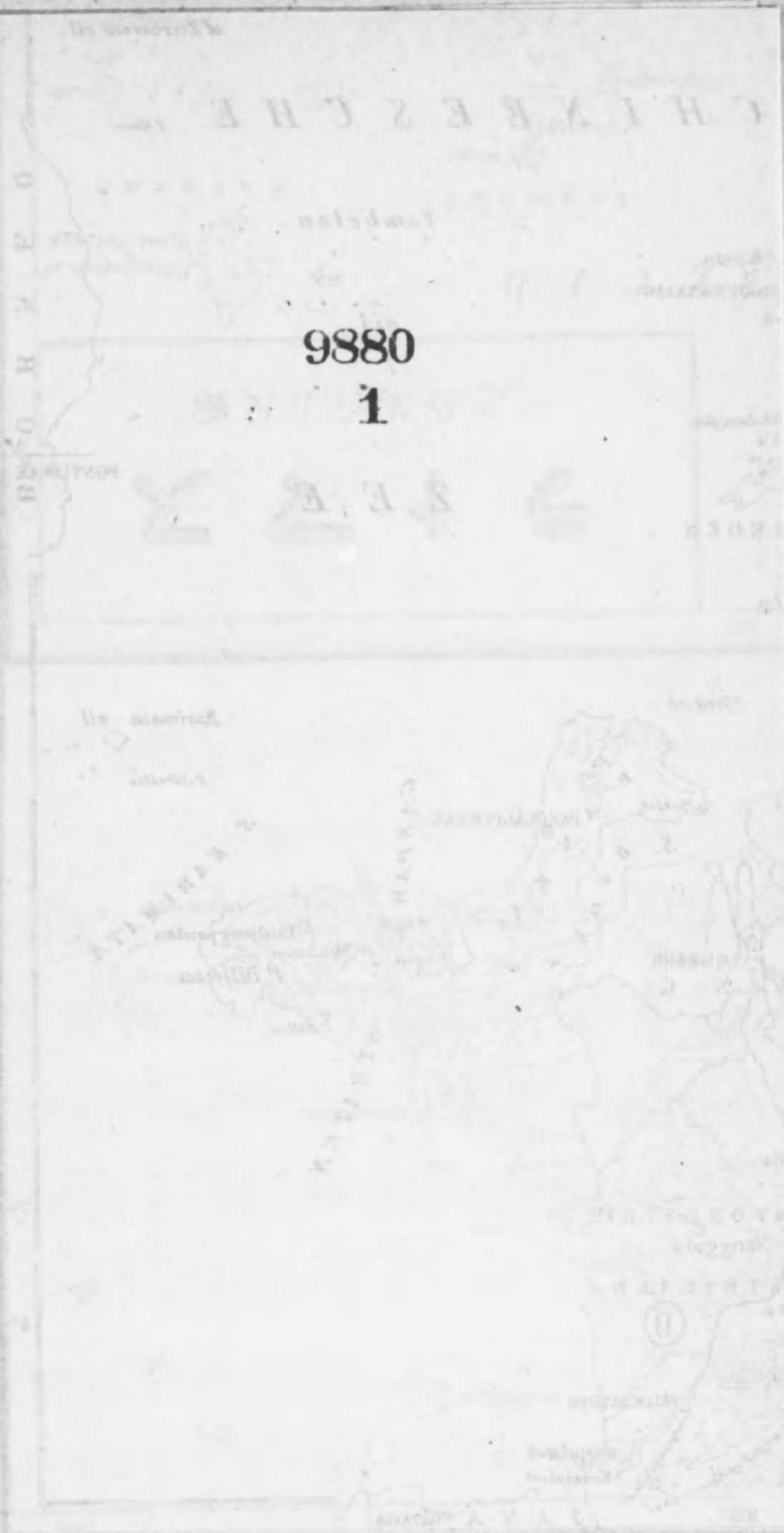
構內電話八九番

大木操氏



9880

1



## 南洋叢書

卷	目次	頁
1	比律賓群島に於ける護謨栽培	.15
2	蘭領スマトラ島の護謨園	.20
3	比律賓群島の開發	.15
4	暹羅國の稻作及精米業	.45
5	緬甸事情	1.00
6	マラオ地方に於ける開墾事業	.50
7	比律賓群島に於ける古々椰子	.75
8	蘭領東印度に於ける灌溉大要	1.15
9	比律賓群島農業の發達と對米貿易の關係	.30
10	海峽殖民地に於ける蓖麻栽培	.35
11	蘭領東印度の教育制度	1.00
12	新西蘭の羊業概況	1.20
13	勞働者の理想郷たる濠洲	.30
14	蘭領東印度に於ける實業教育	.45
15	比律賓と棉作	.50
16	比島タマオの富源と其開發	.35
17	ブードン島農業經濟論	.80
18	比律賓のプリ椰子	.25
19	蘭領印度の經濟	.80
20	比律賓群島の米作	.80
21	キャツサグアの栽培	.50
22	石油生産地としての東方諸國	.30
23	ウツト總督の教書	.55
24	サイザル及龍舌草	1.50
25	布和に於ける木瓜	.50
26	蘭領東印度の産業	1.20
27	布哇の鳳梨事業	1.50
28	一九二一年度蘭印貿易大觀	1.80
29	佛領印度支那	1.50
30	爪哇及マドウラ	1.00
31	スマトラ	1.00

臺灣總督府内  
南洋協會臺灣支部

越村長次編	南洋渡航須知	特價金 二圓 (送料八錢)
越智有編	馬來語讀本	定價金 一圓二十錢 (送料共)
櫻井芳次郎譯	世界的食糧の給源	實費金 三十五錢 (同)
鈴木進一郎譯	大戦前後 甘蔗甜菜兩糖の競争	實費金 一圓二十錢 (同)
村社新譯	英國穀物生産條例解説	實費金 六十錢 (同)
岩木龜彦著	最近三十年間に於ける日本の砂糖及其製品に關する調査	定價金 一圓八十錢 (同)
小森徳治著	比律賓史	特價金 一圓五十錢 (同)
越村長次譯	世界市場に於ける羊毛	實費金 八十錢 (同)
安重龜三郎著	南支汕頭商埠	定價金 八十錢 (同)
加藤清之助著	麻	定價金 二圓 (同)
越智有著	日辭典	定價金 四圓 (同)

發行所

臺灣總督府内

南洋協會臺灣支部

終